

# 令和4年度 事業報告

～市社協「つなげる」アクションプラン～

社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会

# 目 次

<u>はじめに</u> . . . . .	2
<u>具体的施策</u>	
Ⅰ 共に支え合い、地域が「つながる」まち . . . . .	3
推進施策1 地域で支え合うしくみづくり	(3)
推進施策2 地域福祉の拠点づくり	(4)
推進施策3 災害等に備えた支援体制の構築	(6)
Ⅱ 誰もが安心できる、福祉に「つながる」まち . . . . .	7
推進施策4 地域で安心して生活するための支援	(7)
推進施策5 生活の困りごとを抱える人への支援	(8)
推進施策6 再犯防止の推進	(11)
推進施策7 成年後見制度の利用促進	(12)
Ⅲ ひと・こころを育て、未来に「つながる」まち . . . . .	13
推進施策8 福祉の心を育むまちづくり	(14)
推進施策9 地域力向上にむけた人材育成	(14)
推進施策10 健康づくりの推進	(15)
Ⅳ 介護及び障害福祉サービス事業の推進 . . . . .	15
1 事業共通	(16)
2 居宅介護支援事業	(17)
3 特定相談支援事業、障害児相談支援事業	(18)
4 訪問介護事業、障害児・者居宅介護事業	(18)
5 通所介護事業、認知症対応型通所介護事業 (デイサービスセンターいずみ、デイサービスセンター松山)	(19)
6 地域包括支援事業 (地域包括支援センターにいだ：浜田、若浜、飛島担当)	(20)
Ⅴ 顕彰、慰霊事業の実施 . . . . .	21
Ⅵ 適正な法人運営及び広報活動の推進 . . . . .	22
1 適正な法人運営会議の開催	(22)
2 持続可能な財政運営と職員の育成	(22)
3 広報活動の充実	(23)
4 適正な施設管理と安全な福祉バス運行	(23)
5 地域の特性を活かした支部地域福祉活動	(23)
<u>むすびに</u> . . . . .	24

# 令和4年度社会福祉法人酒田市社会福祉協議会事業報告

## はじめに

地域社会を取り巻く環境は、少子・高齢化、人口減少の急激な進行、家族機能の変化、価値観の多様化、ICT通信機器の普及など社会環境が著しく変化しました。それに伴い、地域における住民同士の交流形態も大きく変わり、地域住民相互のつながりが希薄化してきています。このような中で、地域社会においては、様々な困りごと、暮らしにくさを抱える人々が増えています。

私たちが暮らす酒田市でも、人口減少、少子高齢化が進行しております。人口は毎年1,100～1,500人減少し、高齢化率は令和4年9月末で37.0%（住民基本台帳）、高齢者だけで生活する世帯は約10,800世帯（令和3年11月、民生児童委員福祉ニーズ調査）と年々増加傾向にあります。高齢社会の進展により、地域福祉の担い手不足や一人暮らし高齢者の見守り活動、買い物・通院・除雪などの高齢者の日常生活の支援に関する課題が注目されてきましたが、これらに加え、例えば、ひきこもり、孤独・孤立死、自殺、生活困窮者の増加、社会的弱者（子ども、高齢者、障がい者等）への虐待、認知症高齢者や障がい者の権利擁護、子育てと介護を同時に担うダブルケア、80代の親が50代の子どもの生活を支える8050問題、子どもが親等に代わり、家事や家族の世話などを日常的に担うヤングケアラーなど、多くの課題が顕在化しています。いずれも地域社会からの孤立が背景となっているとともに、複雑化、多様化することで、さらに課題が深刻なものとなり、公的な支援、縦割りによる個々の支援だけでは対応が困難となってきています。

さらに、近年全国的に発生している大規模災害や新型コロナウイルス感染症の拡大などが、人々の日常生活を脅かし、日常の生活様式を変えざるを得ない社会の中で、人と人のつながりを確保することがますます困難な状況になっています。

このように地域社会を取り巻く状況が激しく変化する中、すべての人が住み慣れた地域で安心して生活していくためには、地域住民をはじめ、あらゆる関係者、組織・団体が「我が事」として主体的に参画することが大切です。誰もが役割を持ち、活躍できる「地域共生社会（ともに生きる豊かな地域社会）」の実現を目指し、連携・協働により、地域生活課題の解決に向けた包括的な支援体制を整備することが必要です。

酒田市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）は、このような現状認識のもと、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間を計画期間とする第4期地域福祉活動計画（市社協「つなげる」アクションプラン）を策定しました。新型コロナウイルスの感染が広がる中ではありましたが、この活動計画及び市社協の基本方針に基づいて、令和4年度事業を実施しました。

一連の市社協事業を実施するにあたっては、市関係課はもとより、学区・地区社協、自治会、コミュニティ振興会、民生委員・児童委員、福祉協力員、関係機関・団体・事業所の皆様から多くのご協力を賜りました。ここに改めて感謝を申し上げつつ、以下、令和4年度事業をご報告いたします。

### 【市社協基本方針】

- ①地域住民を主体とした「ともに生きる豊かな地域社会」の実現
- ②誰もが人格と個性が尊重され、その人らしい生活を送ることができる福祉サービスの提供
- ③地域住民及び福祉組織・関係者の協働による包括的な支援体制の構築
- ④地域生活課題に基づく、先駆的・開拓的サービス・活動の創出
- ⑤持続可能で責任ある自律した組織経営

## I 共に支え合い、地域が「つながる」まち

提 案 呼びかけ	福祉で まちづくりを	地域の困りごとをみんなで考え、その困りごとを解決できる地域づくりにご協力をお願いします
	まさかやもしものに 備えよう	災害やもしものことがあった時、助け合えるための準備、普段の見守りへのご協力をお願いします

### 推進施策1 地域で支え合うしくみづくり

#### 【基本的な考え方と方針】

＜支え合う気持ちを行動につなげ、福祉でまちづくりを進めるために＞

- 学区・地区社会福祉協議会（以下、「学区・地区社協」と記載）とともに、新・草の根事業を中心とした見守りなどの地域福祉活動を充実・強化するとともに、各学区・地区社協の意見を聞きながら、地域の状況や社会情勢に合わせて、参加支援や地域づくり支援の中核的な役割を發揮できるよう事業内容やそのあり方の見直しを行います。
- 地域生活課題を地域住民同士で見つめ、考え、共有する地域での話し合い、ワークショップなどの場づくりを進めます。
- 地域生活課題の解決のために、住民主体で取り組む新たな仕組みや地域づくりに継続して、協力します。

#### 【令和4年度事業実績】

\* 地域福祉推進の基礎組織であり、事業活動の基本単位である36学区・地区社協とともに、本市独自の地域福祉活動である新・草の根事業6事業に取り組みました。

- ◆学区・地区社協運営事業
- ◆見守りネットワーク支援事業
- ◆合同研修事業
- ◆ふれあい給食事業
- ◆地域あんしん事業
- ◆地域交流サロン事業

#### (1) 学区・地区社協の活動の充実・強化

- ①複数の学区・地区社協の合同研修事業等の場で、市社協職員が講師となり、見守りネットワーク支援事業や福祉協力員の役割などについて、学区・地区毎の状況に即した研修を行いました。
- ②5月に学区・地区社協毎の事業や活動の状況をとりまとめ、それを11月に開催した学区・地区社協代表者会議の場で報告し、他学区・地区社協の好事例などを共有しました。また、「会報ふれあい」でも事例の紹介をしました。
- ③例年開催しているふれあい給食指導者講習会については、今年度も新型コロナウイルス感染拡大のため、中止としましたが、高齢者の食生活・栄養にかかるDVDを配布し、

各学区・地区社協の研修で活用いただきました。

(2) 新・草の根事業の見直し

- ①今後の事業の見直しに向けて、11月に開催した学区・地区社協代表者会議の場で、意見聴取を行いました。

(3) 地域による課題解決、地域づくりへの協力

- ①琢成学区「よろずや琢成」、日向地区「日向ささえあい除雪ボランティア」、南遊佐地区「マイ夢の里プロジェクト」、松陵学区「松陵いこいの場」など、地域支え合い活動推進事業で、これまでに立ち上げ支援をしてきた地区に対して、継続した支援や情報提供を行いました。特に「よろずや琢成」については、視察や講演などの依頼があり、資料作成などの協力を行いました。
- ②北平田地区、上田地区、西荒瀬地区、南遊佐地区で取り組んでいる市まちづくり推進課が進める地域計画（ビジョン）の策定については、市社協も引き続き策定会議に参加し、ワークショップや研修会の開催等に協力、支援しました。北平田地区、西荒瀬地区では、令和4年度に地域計画（ビジョン）を完成することができました。
  - ・北平田の明日を考える会（北平田地区）  
6/25（視察研修）、9/10、11/25、12/8、12/21、1/12、2/16、3/3
  - ・超上田ゆめづくり会議（上田地区） 10/25、12/13、3/15
  - ・2040 西荒瀬未来会議（西荒瀬地区） 6/21、8/25、9/21、10/27、11/16、11/26
  - ・南遊佐コミュニティ振興会（南遊佐地区） 10/27（視察研修）※令和4年度から
- ③その他、黒森地区や若浜学区社協など、地域生活課題解決のための話し合いやプロジェクトに協力しました。

◆新・草の根事業

(単位：人、回)

		平30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度
見 守 り	ネットワーク対象者数	2,312	2,179	2,107	1,865	1,708
	福祉隣組数	1,679	1,544	1,450	1,429	1,387
	福祉協力員数	501	499	502	511	514
ふれあい給食（回数）		202	194	157	193	213
地域交流サロン（回数）		1,591	2,152	1,137	1,140	1,763

推進施策2 地域福祉の拠点づくり

【基本的な考え方と方針】

＜地域を支える団体の活動を広め、福祉でまちづくりを進めるために＞

- 学区・地区といった地縁による地域団体だけでなく、自発的に社会や地域に貢献するボランティア・公益活動に関わる個人や団体との協働のもと、地域福祉を推進します。
- ボランティア・公益活動団体への支援を通して、活動の活性化を図ります。
- 活動のつながりを広げるため、活動団体の情報発信の支援と住民への情報提供、活動や新たに参加しやすい環境づくりに取り組みます。
- 募金や寄付などで皆さんから寄せられる思いやりや優しさも、気軽にできるボランティア活動や公益活動の一つとして捉え、赤い羽根共同募金運動など募金や寄付などに

よる活動参加を促進します。

○赤い羽根共同募金による団体等への助成については、より効果的な活動助成となるよう見直します。

### 【令和4年度事業実績】

#### (1) ボラポートさかたの運営

①市交流ひろばに事務局を置き、市民や公益活動団体、企業等、様々な方からのボランティア・公益活動に関する相談を受け、32件の活動をコーディネートしました。あわせて、企業等のCSR活動としての子ども食堂への寄付・食材の提供などの取り組みを支援しました。

※CSR活動(Corporate Social Responsibility)・・・収益を求めだけでなく、環境活動、ボランティア、寄付活動など、企業としての社会貢献の活動

②「ボラポートさかた通信」を年9回発行したほか、ホームページ、メール、Instagramなどを活用し、登録団体の活動状況やイベント、研修会などの情報発信を行いました。また、12月3日にボランティア団体等のSNS活用を図るため、Instagram活用講座を開催しました。

③東北公益文科大学地域共創センターと共催で「ボランティアコーディネーションカ3級検定」に向けて、事前研修、直前研修、事後研修を行いました(受験者27名)。

④ボランティア・市民活動交流会を開催し、ボランティア団体同士や新たに活動したい方などとの交流、情報交換を行い、ボランティア団体等の連携による新たな活動の機運を高めることができました(43名、13団体参加)。

#### (2) 福祉関係事業の受託

\*手話奉仕員育成事業、福祉の担い手育成事業、元気シニアボランティア事業、障がい者アート展について、市から引き続き受託して事業を行いました。

①手話奉仕員育成事業では、ステップアップ講座を含めて30名が受講しました。また、福祉の担い手育成事業では、高齢者疑似体験を小学校11校で実施しました。

②介護予防等を目的とした元気シニアボランティア事業は、介護保険施設のほか、介護予防・日常生活支援総合事業(通所B型)を活動施設として追加し、登録者の拡大に努めています(令和3年度40名→令和4年度51名)。

③障がい者アート展(いいいろいろ展)は、9月22日から29日まで出羽遊心館を会場に開催され、障がいのある方の作品出展を通じて、障がい者の社会参加や生きがいづくり、障がいに対する理解に努めました。

(令和3年度来場者652名→令和4年度来場者716名)

#### (3) ボランティア活動保険加入の推進

①市社協各支部(酒田・八幡・松山・平田)とボラポートさかたで加入手続きや保険に関する相談などを行い、74団体、個人35名、合計5,678名が保険加入し、ボランティア活動をしやすい環境整備に努めました。

#### (4) 赤い羽根共同募金の推進

①募金に協力をいただくには、制度への理解が大切であり、活用状況などをお知らせするため、独自のチラシを作成するなど、広く理解を得られるように努めました。

## ◆共同募金実績

(単位：円、%)

	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度
目標額	12,542,000	12,490,000	12,491,000	12,508,000	11,774,000
実績額	12,523,812	12,405,129	11,829,027	11,643,004	11,688,881
達成率	99.9%	99.3%	94.7%	93.1%	99.3%

## 推進施策3 災害等に備えた支援体制の構築

## 【基本的な考え方と方針】

＜助け合い、支え合うためのつながりを強くし、まさかやもしもに備えるために＞

- 「平時の活動なくして、非常時の活動なし」という考え方のもと、日頃からの見守り活動による助け合い、支え合いの関係性を築き、災害時にも安否確認や支援を行うことのできる地域づくりを推進します。この目的を達成するため、現在の見守りネットワーク支援事業の見直しを進めます。
- 災害発生時には、速やかに災害ボランティアセンター（以下、「災害VC」と記載）を立ち上げ、支援活動のコーディネートを行い、早期に災害復旧、市民生活の再建を進めます。災害時に円滑に対応ができるよう市や協力団体との協力、連携体制づくりを進めます。
- 他地域での災害時には、被災地災害VCに市社協職員を派遣するとともに、市民の災害ボランティアを募るなど、被災地支援活動を行います。
- 赤十字活動の普及啓発を図るとともに、自然災害に備えた地域での災害等の訓練活動を支援します（日本赤十字社山形県支部酒田市地区事務局：市社協）。

## 【令和4年度事業実績】

## (1) 見守りネットワーク支援事業による見守り活動の見直し

- ①市が行っている災害時要援護者支援の台帳整備と市社協が行っている見守りネットワーク支援事業の関係整理のため、データ共有について協議を行いました。
- ②5月に学区・地区社協毎の事業や見守り活動等の状況をとりまとめ、それを11月に開催した学区・地区社協代表者会議の場で報告し、今後の見直しに向けた意見聴取を行いました。[再掲]

## (2) 市内の災害時、復旧支援に向けた体制強化

- ①災害VCの設置場所や財政負担などを明確にするため、市と市社協の間で協定書、契約書締結が必要であることから、原案を作成し、市福祉企画課と協議しました。
- ②災害VC設置・運営訓練を実施し、災害時支援協定を締結している酒田青年会議所、ライオンズクラブ国際協会からも参加いただき、災害VCについて理解を深め、市社協との協力関係を再確認しました。
- ③赤十字については、自治会長、支部福祉推進員、地区コミュニティ振興会長の皆さまに対し、研修・説明会を開催し、赤十字活動、会費納入の理解、協力をお願いしました。
- ④避難所用屋内テントを購入し、各コミセンで実施された市総合防災訓練に貸出するなどの取り組みを通して、赤十字活動の普及啓発を行いました（5地区）。
- ⑤市内で住宅火災（全焼・半焼）が12件発生し、赤十字活動として見舞金や日用品セツ

ト、毛布を支給しました。

◆赤十字社資納入実績

(単位：円、%)

	平 30 年度	令元年度	令 2 年度	令 3 年度	令 4 年度
目標額	21,266,000	21,241,000	20,685,000	20,685,000	20,311,000
実績額	18,686,374	18,479,612	18,730,427	18,287,065	18,343,309
達成率	87.9%	87.0%	90.6%	88.4%	90.3%

(3) 被災地支援活動への協力

- ① 8月に置賜地方を中心に発生した豪雨災害では、県社協の要請を受け、川西町の災害VCに市社協職員を延べ11日間、合計6名を派遣しました(8/6~8/21)。
- ② 8月11日には市社協でボランティアバスを運行し、川西町でボランティア活動を行いました。市内外から団体、個人あわせて18名のボランティアが参加しました。

(4) 避難者生活支援相談の継続(東日本大震災避難者支援)

- ① 訪問活動等を通じた避難者の生活状況の聞き取りや月1回発行の「こんにちはだより」配付による情報提供など、避難者生活支援相談員2名体制で継続して行いました。
- ② 市危機管理課をはじめとする関係課との連絡会議を6月と翌年3月に開催するなど、市やその他の避難者支援関係団体との連携を図りました。
- ③ 3月11日、地域福祉センターにおいて、被災者の追悼と被災地の復興を願い、「キャンドルナイト」を市社協役職員により実施しました。

II 誰もが安心できる、福祉が「つながる」まち

提 案 呼びかけ	すべての人に 福祉を	すべての人を地域の一員として受け入れ、誰かが困ったら、福祉の相談や支援の窓口につながるためのご協力をお願いします
-------------	---------------	--

推進施策4 地域で安心して生活するための支援

【基本的な考え方と方針】

＜解決を支援する関係者との連携で、すべての人に福祉を届けるために＞

- 複雑化・多様化する地域生活課題などに対応するため、地域、行政、支援関係機関、団体などと分野を超えて連携し、支援者同士のつながりを構築するなど、支援ネットワークづくりを推進します。
- 地域で子育てをする環境づくりを進めるため、地域主体の子どもの居場所づくりなどの活動を支援します。

【具体的取り組み】

(1) 地域生活課題に対応するための連携強化

- ① 市社協で実施している相談事業間の連携のみならず、複雑化、多様化する課題や制度の狭間の問題に対応する場面が多くなっており、必要に応じて、関係機関、団体と支援調整会議を開催するなど、連携・協働して、相談の対応や支援を実施しました。
- ② 市が進める福祉の包括的な支援体制整備に向けた協議の場で、市社協で行っている地域福祉の取組みを踏まえた提案や令和5年度から移行準備事業として市社協受託で実



施される多機関協働事業の実務協議を行いました。

## (2) 子育て支援の活動に対する支援

- ①子ども食堂、子育て応援団活動に関する助成事業などの情報提供を行うとともに、エフワーク(株)からの寄付金を活用した助成制度の創設に向け検討を行い、令和5年度から実施します。
- ②赤い羽根共同募金を活用し、保育園や学童保育、子育て支援活動などの団体に対して活動経費や備品購入などの助成を行いました。

## 推進施策5 生活の困りごとを抱える人への支援

### 【基本的な考え方と方針】

＜隠れた困りごとを見つけ、つなぎ、すべての人に福祉を届けるために＞

- 生活自立支援センターさかたによる生活困窮者自立相談支援事業（以下、「自立相談支援事業」と記載）などの相談支援を通して、経済的自立だけではない、その人なりの自立を目指し、支援します。
- 歳末たすけあい運動について、中央共同募金会が提唱する「社会的孤立、生活困窮などの解決に向けた運動の再構築」を踏まえ、より効果的な募金方法や助成支援のあり方などの見直しを行います。
- 障がいのある人もない人も、共に地域の中で暮らすことのできる社会を目指し、地域福祉活動をはじめ、さまざまな社会活動に障がい者が参加しやすい環境づくりを推進します。

### 【令和4年度事業実績】

#### (1) 自立相談支援事業の実施

\*市と県（庄内町・遊佐町を管轄）から業務委託を受け、地域福祉センター内に「生活自立支援センターさかた」を設け、相談対応しました。

#### 【職員体制】

所長1名（兼務）、副所長1名（兼務）

主任相談支援員1名

相談支援員2名（うち1名は4月～11月）、就労支援員1名

- ①年間の新規相談者実数は、次頁の表のとおりです。新規、継続を合わせた延べ相談対応件数は、酒田市・庄内町・遊佐町合計で3,274件（前年度比734件減）でした。
- ②相談対応方法は、電話1,933件、来所面談839件、訪問120件、同行86件、メール・郵送296件でした。
- ③相談の内容については、「収入・生活費（家計の相談を含む）」と「生活福祉資金に関すること」が多く、この2つで全体の約7割を占めました。次いで「仕事探し・就職」が多く、その他にも「家賃・ローン」「住まい」「債務」「教育資金」「病気、健康、障がい」「家族関係」「ひきこもり」等、幅広い相談が寄せられました。
- ④相談支援にあたっては、相談者が抱える課題や状況の把握に努め、本人の意思を確認し、個々人の状態に合わせて進めるよう心がけました。
- ⑤就労支援の状況は、ハローワーク等への同行、相談者の希望やスキルと求人のマッチ

ング等、伴走型の支援を心がけました。令和4年度は、酒田市45件、庄内町4件、遊佐町4件が就労に結びついています（就労以外の支援のみの相談者も含む）。

- ⑥課題解決のための支援プランを相談者や関係機関と一緒に策定しました。支援調整会議を開催（17回）し、支援内容について確認いただくとともに、より有効な支援策について協議しました。支援プランは、新規42件、継続2件、終結26件でした。また、プランや支援調整会議の有無にかかわらず、相談者への対応は、市・県行政機関、就労準備支援事業者、家計改善支援事業者（庄内町・遊佐町）、ハローワーク酒田、若者サポートステーション、障がい者相談支援機関等、関係機関と相談、連携しながら進めました。
- ⑦相談支援は、国の各種制度によるもののほか、市社協で独自に実施しているたすけあい資金やフードバンク事業などを活用して行いました。
- ⑧新型コロナウイルスの影響により、減収した相談者には、国などによる支援制度に沿いながら対応しました。また、市より新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金受付事務等業務を受託し、生活福祉資金特例貸付利用者の継続的な相談、支援を行いました（支援金は、市から該当者に直接支給）。
- ⑨生活自立支援センターさかたの事業について、必要な方へ情報が届くよう、ホームページ、市社協「会報ふれあい」（年3回）、市広報（毎月1日号）、SNSなどの活用、関係機関へのチラシ配布などを行い、周知に努めました。

◆新規相談受付人数

（単位：人）

	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度
酒田市	193	216	490	249	191
庄内町	23	21	27	11	9
遊佐町	10	11	13	10	11

◆就労決定数

（単位：件）

	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度
酒田市	36	52	54	65	45
庄内町	8	8	11	6	4
遊佐町	2	4	2	6	4

(2) 貸付事業の実施

\*生活福祉資金は、県社協から委託を受け、低所得者等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行っており、県社協や民生児童委員と連携して進めました。

\*たすけあい資金貸付は、市社協独自事業として、生活保護世帯及び生活困窮者等に対して、市や生活自立支援センターさかたと連携しながら、緊急に必要な資金の貸付を行いました。

- ①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年3月に新設された生活福祉資金の特例貸付は、令和4年9月末で申請受付を終了しました。国や県社協の方針に沿い、免除や猶予等償還の相談にも対応しています。
- ②償還指導にあたっては、引き続き、生活の状況把握に努め、一人ひとりの状況に応じた対応を心掛けました。
- ③たすけあい資金は、市福祉企画課との連携のもと、生活保護受給者及び生活保護申請受理見込者で、緊急かつ不時の出費を要する世帯に対し、資金の貸付を行いました。

償還については、市生活保護ケースワーカーによる適切な指導を要請し、償還が滞ることのないよう状況把握に努めました。

- ④生活保護受給者、見込者以外の生活困窮世帯に対するたすけあい資金の貸付では、生活自立支援センターさかたの支援を受けることを条件に貸付けを行いました。
- ⑤たすけあい資金の令和4年度貸付件数は、全体で63件、そのうち生活困窮世帯への貸付件数は19件でした。
- ⑥生活困窮世帯に対するたすけあい資金の償還については、随時相談に応じ、状況把握に努め、必要な世帯には償還計画の見直しを行いました。

◆福祉資金相談・貸付申請件数

(単位：件)

相談・資金種別		平30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度
相談件数		122	206	1,703	2,025	880
貸付申請件数 (資金種別毎)	総合支援資金	0	1	2	0	0
	福祉資金	5	5	9	4	7
	緊急小口(福祉)	17	21	10	3	6
	教育支援資金	14	8	7	7	5
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0	0	1	0
	緊急小口(コロナ)特例	—	2	239	135	28
	総合支援資金(コロナ)特例※	—	—	104	119	28
	総合支援資金(コロナ)特例再貸付	—	—	29	88	—

※延長決定を含む。「—」は制度なし。

◆たすけあい資金貸付状況

(単位：件、円)

	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度
貸付件数	45	92	110	87	63
貸付額(円)	1,431,000	2,980,000	3,792,500	3,167,400	2,084,642
返済件数	137	230	225	252	124
返済額(円)	1,423,784	2,189,716	3,553,700	3,471,508	1,958,642

(3) フードバンク事業の実施

- ①緊急時の対応として、平成28年1月にコープ東北サンネット事業連合と食料品の無償提供の協定を結び、食料支援ができる体制を継続しています。また、市内の多くの企業や団体等より食料品等の寄付をいただいております。フードバンクによる食料支援が必要な方に提供しました。令和4年度のフードバンク提供件数は、酒田市221件、庄内町7件、遊佐町1件、合計229件でした。
- ②新たな寄付者の開拓のため、県の補助事業を活用して企業や団体向けのチラシを作成するとともに、食料品を購入し、フードバンクの充実を図りました。

(4) 体制強化の検討等

- ①生活福祉資金特例貸付の9月終了や新型コロナウイルス感染者の減少などにより、新規相談者が少なくなったこともあり、12月からは4人体制から従来の3人体制で業務を行っています。しかし、延べ相談件数は、コロナ前との比較では増加したままで、引き続き相談対応の業務は大きな負担になっています。令和5年度からは、県社協か

らの受託事業により、特例貸付のフォローアップ支援員を配置し、4人体制になりますが、就労準備支援や家計改善支援の必要性が増しており、さらにひきこもり、8050問題など生活困窮の要因となる新たな課題も増加傾向にあることから、その体制について市社協内部で検討を進めるとともに、県や市等と協議していきます。

②新型コロナウイルス感染拡大防止対策としては、引き続き、面談室の換気や消毒を行うほか、郵送や電話による相談対応も行いました。

**(5) 歳末たすけあい運動の実施**

①低所得世帯を支援する歳末たすけあい運動については、より多くの方に制度の趣旨を理解していただくため、独自のチラシを作成するなど、支援の実績や感謝を示すための広報・周知に努めました。

②課題となっていた戸別募金額、激励金の統一については、共同募金運営委員会等の議論を経て決定し、令和5年度から統一して実施していきます。

**◆歳末たすけあい募金実績**

(単位：円、%)

	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度
目標額	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
実績額	3,993,926	3,936,223	3,857,988	3,918,050	3,924,545
達成率	99.8%	98.4%	96.4%	98.0%	98.1%

**(6) 障がい者の社会参加の推進**

①ボラポートさかたで受託している手話奉仕員育成事業や障がい者アート展、ほかにも日和山桜まつりでの車椅子の貸出、市社協等で実施している障害児・者居宅介護事業所の同行援護事業等を通して、障がい者の社会参加の促進を図りました。

②障がい福祉サービス事業所が手作りのお弁当やお菓子を販売する「満福市にいだ」(会場：地域福祉センター)は、新型コロナウイルスの感染状況に合わせて、注文販売に切り替えて対応するなど、継続して支援しました。また、松山支部、平田支部では小規模作業所の商品販売会を行いました。

③市社協が障がい者の社会参加の促進を行う活動について、市内の障がい者支援施設にご理解いただくために、県が実施する「山形県ふれあいパートナーシップ企業登録制度」に法人として登録を行いました。

**推進施策6 再犯防止の推進**

**【基本的な考え方と方針】**

＜罪を犯した方等の立ち直りの理解を深め、福祉を届けるために＞

- 再犯を防止し、社会復帰につなげるため、出所後などの生活困窮や認知症、障がい等によって、自立した生活を送ることが困難な方の相談に応じ、立ち直りを支援します。
- 司法機関や更生保護関係団体との連携と相互理解に努めます。
- 地域において、罪を犯した方等への立ち直りや非行防止の理解を促し、更生保護活動等に関する周知・啓発に協力します。

**【令和4年度事業実績】**

(1) 関係機関との連携による相談支援や普及啓発

- ①再犯防止のため、様々な課題を支援する保健、消費生活、司法、更生保護、衛生などの関係機関や団体が主催する相談会・研修会などについて、情報提供に協力しました。また、再犯防止に関する会議等への参加を通して、これらの機関・団体との連携を強化しました。
- ②罪を犯した方等の出所後などの社会復帰に向けて、手紙や面談等により本人意思を確認しながら関係機関と連携し、生活自立支援センターによる相談や権利擁護事業などを通して支援しました。

## 推進施策7 成年後見制度の利用促進

### 【基本的な考え方と方針】

#### <権利を護るためのしくみの理解を地域に広げ、福祉を届けるために>

- 認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない方の福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、法人として後見人等を受任する法人後見事業の実施により、できる限り、住み慣れた地域で暮らしていけるよう権利擁護に取り組みます。
- 事業利用者、後見等受任者が年々増加していることから、事業体制を充実・強化します。
- 権利擁護に関する理解を地域に広げるため、制度の仕組みや虐待防止に関する普及啓発を図ります。
- 成年後見制度利用促進のため、今後、市が設置する「成年後見支援センター（中核機関）」については、現在の法人後見事業と合わせて、市社協がその役割を担うことができるよう市と協議を進めます。
- 成年後見制度などでは対応できず、頼りになる家族や親族がいないことなどに起因する将来の不安に関する支援のあり方を検討します（例えば、身元保証や葬儀、墓じまいといった死後の手続きや終活）。

### 【令和4年度事業実績】

- \* 認知症や知的、精神の障がいなどで判断能力が不十分な方々の権利擁護の一環として、福祉サービス利用援助事業や成年後見を法人として受託する法人後見事業を行いました。

#### 【福祉サービス利用援助事業の内容】

- ◆福祉や介護等の公的サービス、助け合いなどの私的サービスの利用手続き相談、つなぎ
- ◆公共料金や生活費、サービス利用料等の日常的な金銭管理
- ◆預金通帳や土地権利書など重要書類の保管

#### 【法人後見事業の内容】

- ◆医療・介護・福祉など生活面における身上監護
- ◆預金や不動産などの財産管理
- ◆契約の締結・解除

#### (1) 福祉サービス利用援助事業の適正な実施

- ①福祉サービス利用援助事業の利用者は、令和4年度は新たに契約を結んだ方が29名（解約は33名）おり、令和4年度末では135名の方が利用しています。利用者は高齢者が半数程度となっており、高齢化が進む地域においては、今後も利用者は増加す

ると考えています。

②令和4年度に5名の方が福祉サービス利用援助事業から成年後見制度に移行しました。施設入所の手続きや財産管理の必要性など、福祉サービス利用援助事業だけでは対応が難しい課題がある場合は、必要に応じて、成年後見制度へ移行できるよう継続的な支援を行っています。

③生活支援員の安定確保と地域の権利擁護の力を高めるため、3月4日に地域住民向け「相続・遺言」「人生会議ノート」をテーマにした研修会を開催しました（研修会参加者20名）。

◆援助内容別件数（延件数）

（単位：件）

援助内容	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度
福祉サービス利用援助	121	130	126	139	135
日常的金銭管理サービス	121	130	126	139	135
書類等預かりサービス	119	128	124	136	133
計	361	388	376	414	403

(2) 法人後見事業の適正な実施

①令和4年度末の受任件数は14名で、受任にあたっては、市社協に設置した受任検討委員会を開催して、受任の可否を判断するとともに、受任後も後見業務の適正を期すため、成年後見事業業務審査委員会を開催しました。

②成年後見事業の受任件数は、昨年度より減少したものの、認知症高齢者の増加などにより、今後、本事業の利用は増えるものと考えています。令和4年度の新規受任件数は2件、死亡により終了した件数は4件でした。

③地域住民からの成年後見制度に関する個別相談に応じるとともに、本間病院友の会主催の健康フェスタ（10月15日）では、成年後見の相談コーナーを設け、市社協職員が相談に対応しました。

④県主催研修会（9月1日、成年後見制度利用促進研修会）に参加し、情報収集を行いながら、遊佐町民生児童委員協議会の成年後見制度に関する研修会（9月6日）で講師を務めるなど、制度の普及、周知に努めました。

◆成年後見受任状況

（単位：件）

	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度
新規受任件数	2	1	3	6	2
終了件数	2	2	2	2	4
現在受任件数	12	11	12	16	14

III ひと・こころを育て、未来に「つながる」まち

提 案 呼びかけ	仲間を増やそう	地域の福祉活動に多くの人や事業者・団体が参加し、共に地域に福祉の心を育てていくことにご協力をお願いします
	みんなで元気に	人と人との「つながり」を大切にし、心身ともに健康な毎日を過ごすためにご協力をお願いします

## 推進施策8 福祉の心を育むまちづくり

### 【基本的な考え方と方針】

＜支え合う気持ちを地域で育て、地域の仲間を増やすために＞

- 福祉の心を育む土壌づくりや担い手が不足する地域福祉の活動を持続可能なものにするため、地域や次世代を対象とした学校での福祉教育に取り組みます。
- 福祉の担い手育成事業（高齢者疑似体験事業、市委託）、手話奉仕員養成事業（市委託）、市内の社会福祉法人との連携によるふくし出前講座などを継続します。また、これらの取り組みの実績を生かし、福祉教育のプログラムを開発します。
- 互いを認め合い、理解し合える多様性を尊重する地域共生社会の実現に向け、心のバリアフリーを推進します。
- 地域の団体と地域にある社会福祉法人、福祉事業者、大学や高校、ボランティア団体、企業等、様々な団体同士がともに活動し、新たなつながりや連携の輪を広げる協働に向けた取り組みを推進します。

### 【令和4年度事業実績】

#### (1) 学校や地域での福祉教育の推進

- ①手話奉仕員育成事業では、ステップアップ講座を含めて30名が受講しました。また、福祉の担い手育成事業では、高齢者疑似体験を小学校11校で実施しました。[再掲]
- ②障がい者への理解、配慮、支援を学ぶことができる聴覚障がい者との交流体験学習について、小学校・中学校の校長会に出向き、説明、周知を行いました。
- ③福祉教育テーマ、プログラムの方向性について、富士見小学校で先駆的に取り組まれている「社会モデル」を学ぶプログラムの視察などを通じ、プログラムの見直しに向けて、市福祉企画課と協議を行いました。
- ④福祉教育推進員研修に市社協職員2名が参加し、福祉教育に資する知識、技能の向上を図りました。

## 推進施策9 地域力向上にむけた人材育成

### 【基本的な考え方と方針】

＜地域に関わるきっかけとつながりをつくり、仲間を増やすために＞

- 地域活動への参加の気持ちのある潜在的な人材を活動につなげていくために、地域の話し合いの場など、様々な参加のきっかけづくりに取り組みます。
- 地域福祉活動に尽力された方々の功績を称え、地域における福祉活動の意識向上を図ります。
- 大学生や看護学生の実習や高校生などの福祉ボランティアを積極的に受け入れ、将来、地域で活躍できる福祉人材育成に協力します。

### 【令和4年度事業実績】

#### (1) 地域福祉活動の担い手の育成、発掘に向けた取り組み

- ①市まちづくり推進課が進めている地域計画（ビジョン）の策定など、地域づくりのための話し合いの場に、市社協職員が参加・協力し、その過程から活動の実践者やリーダーの発掘に努めました。[一部再掲]

## (2) 市内社会福祉法人との連携、協働の継続

①市社協が事務局を務め、「地域における公益的な取組」に関する情報交換、連携した取り組みについて協議する「酒田市社会福祉法人連絡会議」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も書面にて開催し、出前講座の継続実施やメニュー内容等について、法人間で確認しました。

②地域住民や学校から申込を受け、学区・地区社協や自治会の会合、研修等に各法人職員を講師として派遣し、福祉に関する講座を提供する「ふくし出前講座・ふくし共育出前講座」を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大のため、やむなく中止した講座もありましたが、令和4年度は8講座を実施、地域での学びの機会の確保に努めました。

- ◆「寸劇を通じた介護サービスや制度の説明（講師；かたばみ会）」
- ◆「老化を防ぐ食事と栄養（講師；友和会）」
- ◆「成年後見制度や自立支援事業の解説（講師；市社協）」など、

## (3) 福祉活動の意識向上、福祉人材の育成への協力

①社会福祉士を目指す大学生や看護学生の実習受入れを積極的に行い、さらに令和4年度から東北公益文科大学の社会福祉士養成課程に市社協職員が講義（権利擁護と成年後見）を担当するなど、将来の福祉人材の育成に努めました。

## 推進施策10 健康づくりの推進

### 【基本的な考え方と方針】

＜地域でつながり、ひとりでなく、みんなで元気に暮らすために＞

○国が孤独・孤立対策として、「見守り・交流の場や居場所づくりを確保し、人と人との「つながり」を実感できる地域づくりを行うこと」を目標に掲げていることも踏まえ、孤独・孤立を防ぎ、こころとからだの健康を維持するための居場所づくり、つながりの場づくりの取り組みを推進します。

### 【令和4年度事業実績】

#### (1) 地域の様々な居場所づくり、つながりの場づくりへの協力

①学区・地区社協毎の事業や活動の状況をとりとまとめ、それを11月に開催した学区・地区社協代表者会議の場で報告し、他学区・地区社協の好事例などを共有しました。また、「会報ふれあい」でも事例の紹介をしました。[再掲]

#### (2) 学区・地区社協の新型コロナウイルス感染対応への協力

①市内でも感染が一時期拡大し、事業・活動がしにくい状況が続きました。各学区・地区社協からの相談に応じ、他学区・地区での対応事例の情報提供などを行いました。

## IV 介護サービス事業及び障害福祉サービス事業の推進

### 【基本的な考え方と方針】

○介護サービス事業（訪問介護、通所介護、認知症対応型通所介護事業、居宅介護支援）、障害福祉サービス事業等（居宅介護、同行援護、障害児・者相談支援）の実施を通して、在宅で介護を必要とする高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう取り組みます。



- 介護サービス事業及び障害福祉サービス事業は、地域福祉部門を有する市社協ならではの特性を活かして、行政や関係機関はもとより、市社協部門間の協力・連携のもとに、利用者の生活課題を包括的に支援する視点を持って事業を実施します。
- 地域包括支援センターでは、地域包括ケアシステム構築に向けて、高齢者に関する総合的な相談業務、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防等への取り組みを通して、担当地域の高齢者や地域の状況把握、地域の支え合い活動を進めます。

## 【令和4年度事業実績】

### 1. 事業共通

#### (1) サービスの向上・業務改善

- ①介護サービス事業及び障害福祉サービス事業の実施にあたっては、地域福祉部門を有する市社協ならではの特性を活かして、行政及び社協内の協力・連携のもとに、利用者の課題解決を包括的に支援するという視点を持ちながら事業を実施しています。
- ②利用者及び家族との十分な意思疎通によって良好な信頼関係をつくりながら、利用者一人ひとりの身体状況・生活状況を踏まえた目標設定や自身でできることを尊重した支援計画づくりとサービス提供に努めました。
- ③前年度から導入したICTシステムについて、タブレットやソフトウェアを追加導入し、記録業務の省力化と利用者情報等の共有による業務の改善・効率化をさらに進め、利用者サービスの充実を図りました。

#### (2) 職員の質の向上

- ①職員の経験や能力、職責に応じた職場内外の研修を通じて、職員の専門性と業務遂行能力の向上に努めました。

#### (3) 事故防止・災害対策

- ①介護現場での事故の防止と事故発生時に適切な対応ができるように事故対応マニュアル等を活用した職員研修を継続して行うとともに、事故やヒヤリハットの事例を事業所間で共有して再発防止を図りました。
- ②非常時の事業継続や事業の早期復旧が円滑に行えるように「新型インフルエンザ等発生時における事業継続計画」及び「災害発生時における事業継続計画」に基づいて訓練を実施しました。
- ③新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、各事業所においては、早期の職員のワクチン接種やこまめな消毒、換気等の基本的な感染防止対策を徹底し、利用者や職員の体調管理にも十分留意しながら業務を実施しました。令和4年度は、利用者14名（訪問介護5名、デイいずみ5名、デイ松山4名）、職員15名への感染がありましたが、感染発覚後の適切な対応により感染拡大を抑え、クラスターの発生や事業の中止を防ぐことができました。

#### (4) 地域共生

- ①様々な機能や人材を有する市社協の特性を十分に活かし、また介護サービス事業だけでなく、保健・医療・福祉サービス等の社会資源の活用や地域との連携を通して、地域包括ケアの推進に取り組みました。
- ②飛島に居住している高齢者が安心して在宅で生活ができるよう、医療機関や介護サービス事業所、地元関係者との連携・協力のもとに支援を行いました。

## (5) 収益の確保

①介護サービス事業の収支の改善に向けて、課題の抽出や経営分析をもとに必要な対策を検討・実施するとともに、経費の節減を図り、昨年度に続いて黒字とすることができました。

## (6) その他の取組み

①リモート会議の環境を活用して、業務の効率化を図るとともに、新型コロナウイルス発生等の緊急時においても、リモート機器を活用できるようにオンライン研修を実施しました。

## 2. 居宅介護支援事業

### (1) サービスの向上・業務改善

①高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるように利用者及び家族との十分な意思疎通のもとに、自立支援の観点に立ったケアマネジメントに努めました。

②転送電話を活用し、休日や夜間等の緊急の要件に対して24時間対応しました。

③タブレット等のICT機器の活用により、職員間の情報共有と業務の効率化を図りました。

④飛島を担当する唯一の居宅介護支援事業所として、飛島在住の要介護認定者を定期的に訪問し、継続してケアマネジメントを行いました。

⑤地域包括ケアの推進に向けて、「ちようかいネット」を活用した医療、その他関係機関の専門職との連携を進めるとともに、地域住民や民生児童委員等との協力のもとに、利用者の生活を支えることができるように取り組みました。

### (2) 職員の質の向上

①事業所内での事例検討会や他の居宅介護支援事業所との合同の事例検討会を実施し、いわゆる「支援困難事例」ケースにも対応できるように職員の能力の向上を図りました。

②利用者及び家族等へ質の高いケアマネジメントの提供ができるように主任介護支援専門員が中心となって人材育成を図りました。また、酒田市主任ケアマネージャー部会の役員として研修会の企画や運営に協力し、酒田市のケアマネージャーの質の向上に努めました。

### (3) 収益の確保

①介護報酬や認定調査件数の管理を行う担当者を決め、毎月、実績を把握し、目標の件数を維持するとともに、より質の高いサービスを提供した場合に算定される特定事業所加算の要件Iを継続することで、収益の確保に努めました。

#### ◆ケアマネージャー管理件数

(単位：件)

区分	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度
要介護1.2	2,559	2,480	2,532	2,385	2,331	2,218
要介護3.4.5	1,396	1,295	1,541	1,654	1,583	1,570
予防支援	281	320	189	139	179	156
認定調査	363	325	395	173	232	214
計	4,599	4,420	4,657	4,351	4,323	4,158

### 3. 特定相談支援事業、障害児相談支援事業

#### (1) サービスの向上

- ①障がい者自身が望む自立した生活ができるように自己決定への支援を行いながら、サービス等利用計画を作成し、適切なサービス提供につなげるように努めました。
- ②障がい者の抱える悩みや相談に対しては、傾聴の姿勢で臨み、地域福祉課や関係機関と連携を図りながら、支援を行いました。

#### (2) 職員の質の向上

- ①障がいのある方の特性や強みに着目した支援ができるよう酒田市自立支援協議会専門部会での情報交換をはじめ、精神障がい者支援の専門研修等への参加を通して、ケアマネジメント能力の向上を図りました。

#### (3) 収益の確保

- ①精神障がい者及び強度行動障がい者に係る相談支援専門員の配置による報酬の加算体制を維持し、新規の計画相談を積極的に受けることにより、収益の確保に努めました。  
※強度行動障がい者・・自傷行為や物を壊すなど周囲の人に影響を及ぼす行動が多くみられ、家庭でかなり努力をして養育しても難しい状態が続くなど、特別な支援が必要な状態をいう。

#### ◆障がい児・者サービス等利用計画管理件数

(単位：件)

区分	平 29 年度	平 30 年度	令元年度	令 2 年度	令 3 年度	令 4 年度
利用計画作成	73	87	71	75	89	78
モニタリング	68	133	168	190	203	217
計	141	220	239	265	292	295

### 4. 訪問介護事業、障害児・者居宅介護事業

#### (1) サービスの向上

- ①利用者一人ひとりの身体状況・生活状況に合った目標や自身ができることを尊重した訪問介護計画を作成し、利用者に寄り添ったサービス提供を行いました。
- ②介護予防・日常生活支援総合事業訪問A型の受入事業所として、切れ目なく必要な支援が受けられるよう対応しました。
- ③介護保険では対応しきれない買い物や掃除、通院介助などについては、制度外の「生活支援訪問介護事業」により、在宅での生活を支援しました。

#### (2) 職員の質の向上

- ①毎月のヘルパー研修会のほか、外部研修に参加した職員が、研修で学んだ知識や技術を報告・共有することで、ヘルパー全体の介護能力の底上げに努めました。
- ②様々な年代のヘルパーを採用し、希望する時間帯で仕事ができるようにするなど、働きやすい職場づくりを進めて、ヘルパーの確保と定着を図りました。
- ③視覚障がい者の同行援護のニーズに応えるため、職員の資格取得を支援し、新たに1名の資格取得者を配置しました(合計12名)。

#### (3) 事故防止・災害対策

- ①令和3年度に導入したICTシステムを活用し、新型コロナウイルスが発生した際のヘルパー間の連絡や指示、情報共有をスムーズに行うことができました。

②新型コロナウイルスの感染防止のため、ヘルパーの体調管理を徹底するとともに、訪問介護時の防護具の装着研修等を継続し、感染防止に努めました。

#### (4) 収益の確保

①利用者のニーズに応えるとともに、収益の確保が図られるように「福祉のしごとフェア」に参加し、不足がちなヘルパーの確保に努めました。

#### ◆訪問介護利用件数

(単位：件)

区分	平 29 年度	平 30 年度	令元年度	令 2 年度	令 3 年度	令 4 年度
介護保険	15,103	10,650	11,871	12,005	13,007	12,074
総合事業※	759	1,527	1,892	2,095	2,321	2,439
障がいサービス	3,913	3,501	2,712	3,515	3,833	3,969
有償サービス	342	336	282	261	381	446
計	20,117	16,014	16,757	17,876	19,542	18,928

※介護予防・日常生活支援総合事業

## 5. 通所介護事業、認知症対応型通所介護事業（デイサービスセンターいずみ、松山）

### (1) サービスの向上

- ①利用者一人ひとりに寄り添った通所介護計画を作成し、利用者の在宅生活の安定と家族の介護負担の軽減を図りました。
- ②利用者の生活歴や能力等を踏まえ、QOL（生活の質）の向上を図るとともに、デイサービスをより楽しんでもらえるように提供しているサービス（脳活トレーニング、手工芸、おやつ作り、レクリエーション、季節行事、支援内容等）の見直しを図りました。
- ③認知症対応型については、一人ひとりを中心としたサービスを意識し、ご家族と情報の共有を図りながら、利用者の特性や状態に応じたきめ細かなケアを行い、より利用者満足度の高いサービスの提供に努めました。
- ④介護予防・日常生活支援総合事業通所A型の受入事業所として、高齢者が自立した生活を営むことができるように必要なサービス（運動、趣味活動、外出支援）を提供しました。
- ⑤家族への状況報告を密に行う等、利用者及び家族との意思の疎通が十分取れるように努めました。
- ⑥サービス提供スケジュールや業務内容・役割分担等を見直し、業務の効率化を図りました。
- ⑦強みである地元の食材を使用した季節感のあるメニューや個々の利用者の身体状況に合わせた形態の食事を提供し、多くの利用者に喜んでいただきました。

### (2) 職員の質の向上

- ①毎月の内部研修の内容を充実するとともに、職種毎の外部研修にも積極的に参加し、研修成果を他の職員と共有しました。
- ②毎日のミーティングにおいて、利用者対応の確認・検討を行うとともに、接遇の徹底について確認しました。
- ③自己評価シートの活用により、職員自身が介護技術や知識レベルを確認したうえで個人目標を設定し、年度終わりの振り返りによって、計画的にレベルアップを図りました。
- ④施設内での虐待防止のほか、コンプライアンスの順守について、職員の意識啓発に努

めました。

### (3) 事故防止・災害対策

- ①安全安心な送迎ができるように運行前点検や車両管理、安全運転の励行を徹底し、乗車前の利用者の体調確認や出発、停止時の声掛け、楽しい車中づくり等を実践しました。
- ②災害時に迅速かつ的確な対応ができるように利用者の参加を得て、火災、地震及び水害を想定した避難訓練を実施し、職員の防災意識を高めました。
- ③「自然災害発生時における業務継続計画」に基づいて、飲料水や衛生用品等の備蓄品に加え、新たに家用発電機を購入し、使用方法等についての練習を行いました。

### (4) 地域共生

- ①地域に密着した信頼される施設づくりに向けた地域行事への参加やボランティアの受け入れ、保育園、小中高生との交流等については、新型コロナウイルスの流行により、十分な取り組みができませんでした。

### (5) 収益の確保

- ①利用者と家族、居宅介護支援事業所等との信頼関係を深め、選ばれる事業所となるように施設での利用者の様子や事業所の取り組み等を掲載した広報誌を定期的に配付し、情報発信とPRに努めました。

### (6) その他の取り組み

- ①利用者が安全で快適に過ごせるよう設備の改修や備品の更新等を進め、デイサービスいずみでは、老朽化した玄関ポーチの改修工事を行いました。

#### ◆デイサービス利用件数

(単位：件)

区分		平 29 年度	平 30 年度	令元年度	令 2 年度	令 3 年度	令 4 年度
い ず み	介護保険	6,043	4,545	5,177	5,168	5,624	5,099
	総合事業	533	856	825	539	387	405
	計	6,576	5,401	6,002	5,707	6,011	5,504
松 山	介護保険	4,252	3,818	4,102	3,991	4,098	4,258
	総合事業	598	485	560	386	414	508
	計	4,850	4,303	4,662	4,377	4,512	4,766

#### ◆認知症デイサービス（いずみ）利用件数

(単位：件)

区分	平 29 年度	平 30 年度	令元年度	令 2 年度	令 3 年度	令 4 年度
介護保険	2,614	2,196	2,142	1,862	1,357	1,774

## 6. 地域包括支援事業（地域包括支援センターにいだ：浜田、若浜、飛鳥担当）

\*地域包括ケアシステムの確立に向けて、高齢者に関する総合的な相談業務、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防等への取り組みを通して、担当地域の高齢者や地域の状況把握、地域の支え合い活動を進めました。

### (1) サービスの向上

- ①地域包括ケアシステム確立に向けて、市社協の強みである各部署との連携のもとに、地域の総合相談窓口として、複雑化、多様化した課題を抱えるケースについても積極的に受け入れ、丁寧な支援を行いました。

- ②「包括にいだ便り」を年4回発行し、センターの業務内容やサロン活動の様子等の地域の情報、ちょっとした役に立つ情報などを地域に向けて発信しました。
- ③身近な相談窓口として気軽に利用してもらえるように地域のサロンなどの集まりに参加して、地域住民と顔の見える関係づくりに努めました。

## (2) 職員の質の向上

- ①相談対応がスムーズに行えるよう、業務に必要な技術の習得に向けて研修や講演会などに積極的に参加し、成果を共有することで、専門性のさらなる向上を図りました。

## (3) 地域共生

- ①地域ケア会議、ブロック会議等を通して、自治会や民生児童委員、福祉協力員等と信頼関係を深め、地域の人材やマンパワーを活かしつつ、地域との連携による支援体制の強化に努めました。同時に、地域の新たな担い手の発掘に結びつくように情報発信を行いました。
- ②障がい福祉サービス事業所が手作りのお弁当やお菓子を販売する「満福市にいだ」(会場：地域福祉センター)について、新型コロナウイルスの感染状況に合わせて注文販売に切り替えて対応するなど、継続して支援しました。[再掲]

## (4) その他の取組み

- ①社会福祉士を目指す大学生や看護学生の実習受入れを積極的に行いました。[再掲]

### ◆地域包括支援センター相談件数

(単位：件)

区分	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度
総合相談	3,087	3,477	1,854	1,651	2,164	2,288
権利擁護関係	30	14	161	100	52	68
包括的・継続的	243	145	302	343	378	418
介護予防	170	92	87	63	888	818
計	3,530	3,728	2,404	2,157	3,482	3,592

### ◆介護予防支援件数

(単位：件)

区分	平29年度	平30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度
プラン作成、調整	2,928	2,359	3,651	4,000	2,821	2,973

## V 顕彰、慰霊事業の実施

### 【基本的な考え方と方針】

- 長年、地域福祉活動に尽力された方々の功績を称え、地域における福祉活動の意識向上を図ります。
- 先の大戦において亡くなられた方々を慰霊し、平和を願い、戦争の悲劇を風化させることなく、平和の尊さを後世に伝えます。

### 【令和4年度事業実績】

- (1) 11月18日、総合文化センターにおいて、酒田市前田福祉賞と社協表彰式を開催しました。令和4年度の社協表彰は、表彰者46名、感謝状贈呈9名で、長年のご功績、ご協力に感謝の意を表しました。
- (2) 第72回山形県・県民福祉大会は、11月21日に新庄市民文化会館で開催され、市関係者では大会会長表彰を10名が受賞しました。

(3) 酒田市戦没者追悼式は、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止しました。

## VI 適正な法人運営及び広報活動の推進

### 【基本的な考え方と方針】

- 市社協は、公的な性格を持つ民間福祉団体（社会福祉法人）であり、公益性の高い組織にふさわしい法人運営体制を確立します。
- 限られた職員で年々拡大・深化する業務に対処するため、事務の効率化や組織内連携・職員間連携を強化するとともに、研修等を通して職員の質の向上を図る。さらに、職員のチームワーク力を基盤に「地域とともに考え、行動する市社協」を目指します。
- 広報紙、ホームページ等、様々な手段を使って、市社協の財政状況、事業活動の状況等を情報提供し、説明責任を果たすとともに、福祉を取り巻く動向、課題について、情報発信をします。

### 【令和4年度事業実績】

#### 1. 適正な法人運営会議の開催

主要な法人運営関連の会議等の開催状況

- ・正副会長会議 3回
- ・理事会 3回
- ・評議員会 3回
- ・社協監査 1回
- ・各部会 2回（うち書面開催1回、共同募金部会は3回開催）
- ・評議員選任・解任委員会 1回

#### 2. 持続可能な財政運営と職員の育成

- (1) 貴重な自主財源である社協会費及び共同募金については、引き続き理解と協力をいただけるように自治会長、支部福祉推進員、地区コミュニティ振興会長の皆さまに対し、研修・説明会を開催しました。
- (2) 県の助成制度を活用し、生活困窮者のフードバンク用食料品や子どもの学用品を購入、企業向けフードバンク普及啓発パンフを作成しました。また、同様に県の助成制度により、介護サービス事業所で利用するICTタブレットを整備しました。
- (3) 外部研修や職場内研修を通して、職員の資質向上を図るとともに、資格取得のための支援を行いました（地域共創コーディネーター養成講座、福祉教育推進員研修、障がい者相談支援従事者研修、同行援護従事者養成研修等）。
- (4) 地区担当制（地域福祉課）を通して地域との関わりを深めるとともに、地域でのワークショップ参加、講演会・出前講座の講師役を務める等、取り組みました。

#### ◆社協会費の納入状況

（単位：件、円）

種類	令2年度		令3年度		令4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
個人会費（戸別会費）	28,398	14,199,000	28,359	14,180,700	28,123	14,061,500
団体会費	48	160,000	46	182,000	51	174,000
特別会費	319	478,500	318	477,000	310	465,000
合計	28,765	14,837,500	28,723	14,839,700	28,484	14,700,500

### 3. 広報活動の充実

- (1) 広報紙（会報「ふれあい」）を年3回発行しました。発行にあたり、会報編集委員会を開催し、見やすい、わかりやすい会報づくりに努めました。また、酒田市視覚障害者福祉協会から「声の広報」（CD）を作成していただきました。
- (2) 「ボラポートさかた通信」を年9回発行したほか、ホームページ、メール、Instagramなどを活用し、登録団体の活動状況やイベント、研修会などの情報発信を行いました。[再掲]
- (3) 「包括にいだ便り」を年4回発行し、センターの業務内容やサロン活動の様子等の地域の情報、ちょっとした役に立つ情報などを地域に向けて発信しました。[再掲]
- (4) 広報紙、ホームページ、SNS以外にも、地域での研修会や出前講座を通して、福祉を取り巻く動向、課題、事業計画、活動状況等について、広くお知らせしました。

### 4. 適正な施設管理と安全な福祉バス運行

- (1) 地域福祉センター等、市社協が管理する施設については、適切な管理・運営を行い、福祉関係団体等の利用に供しました。令和4年度は、高圧機器の改修、点字ブロックの貼替え等を行いました。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議室やバスの定員の制限、消毒、換気等を徹底し、安全な施設利用、バスの運行・利用に努めました。
- (3) 老朽化した老人福祉センターやまゆり荘を廃止し、市との協議により八幡支部を八幡総合支所内に移転しました。なお、市社協所有の山林、地域福祉センター隣接駐車場の市移管協議を継続して行います。
- (4) 地域福祉センター入居団体による酒田市地域福祉センター運営委員会を開催し、施設管理運営の円滑化と適正な施設利用を図りました。
- (5) 市社協に寄贈された車椅子を市民に貸出することで、急な怪我や病気等で車椅子を必要する方々の利便性を図りました（貸出は、八幡、松山、平田支部でも実施）。

### 5. 地域の特性を活かした支部地域福祉活動

- \* 八幡・松山・平田支部では、管内における市社協会費、共同募金・歳末たすけあい募金、日赤会費等への納入依頼と集約について、関係団体等の理解・協力を働きかけました。
- \* 管内各地区社協の活動支援や関係福祉団体の活動支援を行うほか、各支部・地区社協の地域特性等を活かした地域福祉活動の取り組みや新たな支え合いの仕組みづくりなどの地域支援活動を展開しました。
- \* 各支部には正職員1名、地域福祉専門員1名、事務員1名の計3名が配置されていますが、今年度も新型コロナウイルスの影響による生活福祉資金借入の相談者への対応等のため、松山支部と平田支部の正職員は兼務体制で業務を行いました。また、職員が地域の会議や現場に出やすいように3支部の窓口開設時間を基本的に午前9時から午後4時までとしました。

#### 【八幡支部】

- ① 八幡支部は、老人福祉センターやまゆり荘の老朽化により、令和4年12月に市八幡総合支所（以下、「八幡支所」という。）内に執務室を移転しました。関係団体や地



域住民への事前の周知・説明を行い、移転後もトラブルなく事業を継続することができています。

- ②八幡支所内へ移転したことで、八幡支所や同じ建物内にある観音寺コミ振との連携が図り易くなり、「ミニデイサービス」や「サロン世話人代表者会議」など社協事業にご協力をいただきながら、実施することができました。
- ③八幡支所と地域包括支援センターやわたとの協働で実施している「やわたけんこうプロジェクト（YKP）」では、地域における通いの場の支援だけに留まらず、移動や除雪など地域生活課題についても、ワークショップを行うなど解決に向けた取り組みを行いました。

#### 【松山支部】

- ①松山支部においては、市松山総合支所、地域包括支援センターまつやま、ロコモ予防隊と連携して健康づくりを行う「松山いきいきくらぶ」を7回開催、「健康フェア」を1回開催し、合わせて小規模作業所の商品販売会「満福市」を開催し、外出の機会確保、閉じこもりの防止を図りました。
- ②男性の料理教室「おとこかれーくらぶ」を11回開催し、男性の仲間づくりや地域活動への参加を働きかけました。

#### 【平田支部】

- ①平田支部においては、地域包括支援センターひらたと合同で、一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、困りごとや生活状況・健康状態等を把握し、必要な福祉サービスや医療機関の情報提供を行い、不安軽減できるよう支援しました。
- ②平田地区社会福祉協議会連絡会（以下、「連絡会」という。）と連携して、酒田市消防団平田支団を対象にお互いさまの気持ちで、心ふれあう地域づくりを推進するため、「ひらた社会福祉のつどい」を開催しました。当日は、防災士から災害時のボランティア体験の講話をいただき、他関係機関との連携、協働により安心安全の暮らしを支援しながら、災害に対する心構えを研修しました。
- ③連絡会では、各5地区社協の情報交換の中で、それぞれの地区の取り組みや状況を把握することで、地域の福祉活動を共通理解することができました。また、ひらたボランティアまつりでは、災害時の炊出しの周知や共同募金活動、小規模作業所による商品販売会を開催し、地域住民への周知を図ることができました。

## むすびに

以上が、令和4年度の事業実績であります。事業実施にあたりまして、多大なご協力を賜りました皆様方に、重ねて感謝申し上げます。

冒頭申し上げたとおり、新型コロナウイルス感染拡大が長期化し、経済面だけでなく、地域福祉推進という視点でも、厳しい状況に直面しております。人流の抑制、外出の制限等により、人が集まる機会の減少は、地域福祉の根幹である“人と人のつながり”を揺るがしかねない重大な事態であります。

令和5年度には、新型コロナウイルスが感染症予防法上、「2類相当」から「5類」に引き

下げられます。新型コロナウイルス自体はなくならないものの、この3年間、失われつつあった“人と人のつながり”が取り戻され、地域社会に人の交流と笑顔があふれる日常が訪れることを期待しています。

さらに、一日も早い感染の収束、平和な世界を祈りつつ、引き続き、市社協は「福祉でまちづくり」を進めるため、地域、市民の皆様、福祉団体・関係者、事業者、行政等とのつなぎ役、「支え合いの要」であることを意識し、自らも実践することで、その役割を果すよう取り組んでいきますので、これまでと変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

各事業の詳細は、次のページからの事業実施概要（付属資料）に記載していますので、ご参照をお願いいたします。

## 令和4年度 事業報告

令和5年6月

作成：社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会  
酒田市新橋二丁目1番地の19

令和4年度  
事業実績概要  
(付属資料)

自 令和4年4月 1日 至 令和5年3月31日

社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会

# 1 市民による支え合い活動の推進

## 新・草の根事業

学区地区 社協	見守りネットワーク支援事業			合同研修事業		ふれあい給食事業		地域あんしん事業	地域交流サロン事業	
	ネットワーク 対象者数	福祉 隣組数	福祉 協力員数	回数	延人数	回数	延人数	回数	回数	延人数
琢成	275	185	20	1	61	8	491	24	116	1,531
浜田	134	84	30	1	58	9	455	40	40	1,271
若浜	37	33	16	2	76	9	478	24	138	928
富士見	55	55	10	2	66	6	308	6	69	831
亀ヶ崎	62	68	18	2	80	7	506	23	14	272
松原	98	86	17	2	114	7	165	34	15	314
港南	26	20	9	1	21	10	451	12	4	55
松陵	78	37	15	2	76	10	383	36	48	1,351
泉	23	28	13	2	83	9	84	24	69	1,468
宮野浦	35	30	16	3	43	7	424	7	53	475
飛島	33	5	4	1	13	3	76	15	12	306
西荒瀬	31	34	25	1	25	6	138	11	35	608
新堀	37	50	11	3	78	6	187	24	23	566
広野	18	20	13	2	27	6	65	24	23	626
浜中	15	14	8	2	34	2	44	24	6	74
黒森	24	2	7	2	46	2	78	12	11	1,429
十坂	38	37	10	1	22	8	84	24	96	1,700
東平田	69	36	4	1	21	12	156	24	59	581
中平田	20	7	8	2	45	13	133	24	18	265
北平田	20	7	14	2	84	5	70	24	16	195
上田	15	13	11	3	60	6	61	24	19	235
本楯	22	20	19	2	33	6	161	24	124	1,387
南遊佐	39	33	10	2	59	5	100	24	10	107
小計	1,204	904	308	42	1,225	162	5,098	508	1,018	16,575
一條	29	26	30	3	30	2	126	17	81	682
観音寺	39	43	43	1	32	3	147	12	91	1,021
大沢	20	20	15	3	147	3	163	12	15	169
日向	26	26	24	2	32	5	206	12	178	991
小計	114	115	112	9	241	13	642	53	365	2,863
南部	14	21	7	1	12	7	103	12	57	592
山寺	7	7	3	2	32	6	66	12	26	420
松嶺	40	83	14	2	61	6	160	12	8	223
内郷	32	46	12	2	31	8	154	12	3	100
小計	93	157	36	7	136	27	483	48	94	1,335
田沢	58	35	6	2	28	3	320	24	35	422
東陽	79	48	13	5	77	2	102	24	82	759
郡鏡・山谷	48	37	13	2	33	2	31	36	57	583
南平田	53	52	23	2	30	2	18	36	15	151
砂越・砂越緑町	59	39	3	2	52	2	56	25	97	1,425
小計	297	211	58	13	220	11	527	145	286	3,340
合計	1,708	1,387	514	71	1,822	213	6,750	754	1,763	24,113

## 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金活動

(1) 共同募金収納実績 (単位：円、%)

委員会名	目標額	実績額	達成率	未達成額
酒田市委員会	11,774,000円	11,688,881円	99.28%	△85,119円

(2) 歳末たすけあい募金収納実績 (単位：円、%)

委員会名	目標額	実績額	達成率	未達成額
酒田市委員会	4,000,000円	3,924,545円	98.11%	△75,455円

(3) 共同募金助成内訳

A助成（山形県共同募金会で決定される、施設、団体への助成）4,270,000円

B助成（社協への地域福祉活動助成）5,197,463円

C助成（前年度歳末たすけあい募金による助成を実施した後の余剰金）658,050円

① A助成

<p>社会福祉法人保育事業「福祉の心」（7団体）350,000円                      ＊宮野浦保育園 ＊新堀保育園 ＊広野保育園、＊浜中保育園 ＊黒森保育園                      ＊若宮保育園 ＊酒田ふたば園</p>
<p>障がい者小規模作業所支援事業（3団体）300,000円                      ＊支援センターふれあい工房 ＊多機能福祉施設こもれび                      ＊支援センターなのはな畑</p>
<p>民間学童保育所支援事業（5団体）500,000円                      ＊琢成学区学童保育所 ＊浜田学区学童保育所 ＊松原学区第一学童保育所                      ＊松原学区第二学童保育所 ＊富士見学区学童保育所</p>
<p>地域在宅・特別在宅事業（1団体）150,000円                      ＊松陵学区社会福祉協議会</p>
<p>福祉車両整備事業（2団体）2,970,000円                      ＊たぶの木 ＊広野保育園</p>

② B・C助成

<p>福祉育成援助活動費（9団体及び市社協事業）4,308,322円                      ＊酒田市民生委員・児童委員協議会連合会 ＊酒田市自治会連合会                      ＊酒田市八幡遺族会 ＊酒田市平田遺族会 ＊平田なごみの会                      ＊ちようかい子育て応援団 ＊酒田電気工事組合 ＊酒田飽海鍼灸マッサージ師会                      ＊酒田市ボランティア連絡協議会 ＊酒田市社会福祉協議会</p>
--

<p>高齢者福祉活動費（4団体）295,000円</p> <p>*酒田市老人クラブ連合会酒田支部 *酒田市老人クラブ連合会八幡支部</p> <p>*酒田市老人クラブ連合会松山支部 *酒田市老人クラブ連合会平田支部</p>
<p>児童・青少年福祉活動費（13団体）490,000円</p> <p>*NPO法人がくほれん with 酒田 *広野保育園 *新堀保育園 *宮野浦保育園</p> <p>*浜中保育園 *十坂こども園 *亀ヶ崎保育園 *小鳩保育園 *北平田保育園</p> <p>*酒田報恩会保育園 *若浜保育園 *北新橋保育園 *泉保育園</p>
<p>障がい児（者）福祉活動費（14団体）652,191円</p> <p>*NPO法人酒田市障がい者福祉会 *八幡身体障害者更生会</p> <p>*松山障がい者福祉会 *平田身体障害者福祉協会 *酒田手をつなぐ育成会</p> <p>*八幡手をつなぐ育成会 *松山・平田手をつなぐ育成会</p> <p>*社会福祉法人酒田市あすなろ福祉会 *NPO法人支援センターふれあい工房</p> <p>*NPO法人障がい者サポートセンターあらた *障害福祉サービス事業所たぶの木</p> <p>*NPO法人みつば *NPO法人支援センターなのはな畑</p> <p>*NPO法人みらいず</p>
<p>母子・父子福祉活動費（1団体）110,000円</p> <p>*酒田市母子福祉ねむの木会</p>

（4）歳末たすけあい募金助成内訳

①低所得世帯へとその児童への助成

（単位：世帯、人、円）

世帯人数	酒田支部		八幡支部		松山支部		平田支部	
	件数	単価	件数	単価	件数	単価	件数	単価
1人世帯	42	3,000	19	5,000	20	5,000	34	5,000
2人世帯	114	4,000	7	6,000	9	7,000	13	6,000
3人世帯	93	5,000	11	7,000	0	10,000	6	7,000
4人以上	94	7,000	8	8,000	3	12,000	10	8,000
児童への贈り物	392	1,000	26	1,000	10	3,000	23	1,000
合計	2,097千円		304千円		229千円		393千円	
戸別募金額	100		300		300		300	

※助成金総額 3,027,000円（申請追加 4,000円含む・前年度 3,327,000円）

赤十字活動

(1) 会費納入状況

年度	目標額	実績額	達成率
令和4年度	20,311,000円	18,343,309円	90.3%
令和3年度	20,685,000円	18,287,065円	88.4%

○会費納入実績内訳

一般社資		法人社資		計
会費	寄付金	会費	寄付金	
7,239,900円	11,087,750円	0円	15,659円	18,343,309円
18,327,650円		15,659円		

\*会費とは、日本赤十字社の会員（住所、氏名が明確な方）として納めていただく納付金のことです。日赤山形県支部では、年額700円以上と定めています。住所・氏名が明確でない場合、または、納付金が700円未満の場合は、寄付金扱いとしています。

○支部別実績及び交付金

支部名	酒田支部	八幡支部	松山支部	平田支部	計	
実績額	15,226,209円	1,110,200円	848,400円	1,158,500円	18,343,309円	
件数	会費扱い	6,848件	1,586件	0件	1,655件	10,089件
	寄附扱い	146件	0件	42件	0件	188件
	計	6,994件	1,586件	42件	1,655件	10,277件
交付金	1,522,619円	111,020円	84,840円	115,850円	1,834,329円	

(2) 災害救援事業（被災状況及び見舞金、救援物資の交付状況）

区分	件数 (件)	被災者 (人)	見舞金額 (円)	救援物資		
				毛布	緊急セット	学用品
全焼	8	8	320,000	7	6	1
半焼	4	4	80,000	4	4	0
部分焼	0	0	0	0	0	0
ぼや	0	0	0	0	0	0
災害死亡者弔慰金		0人	0円			

(3) 義援金の受付（令和4年4月1日～令和5年3月31日まで）

総額 4,854,696 円

【内訳】

・平成30年7月豪雨災害義援金	(	2,648	円)
・令和2年豪雨災害義援金	(	2,075	円)
・令和4年3月福島県沖地震災害義援金	(	25,721	円)
・令和4年大雨災害義援金	(	2,226	円)
・令和4年8月3日から大雨災害義援金	(	106,316	円)
・令和4年台風15号等災害義援金	(	5,627	円)
・ウクライナ人道危機救援金	(	3,287,329	円)
・2023年トルコ・シリア地震救援金	(	1,422,754	円)

(4) 各種団体への助成

団体名	酒田市地区からの助成額	山形県支部からの助成額	主な活動
酒田市赤十字奉仕団	—	80,000 円	地域奉仕活動等
酒田市本楯赤十字奉仕団	—	80,000 円	清掃ボランティア等

(5) 青少年赤十字加盟校に対する衛生用品の配布

これまで青少年赤十字加盟校に対し、助成金を交付して活動支援をしてきましたが、令和3年度に引き続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を行い、健康な学校生活を送れるよう、学校で必要とする衛生用品（シャボネット、非接触型体温計、充電式クリーナー等）を現物支給しました。（小学校2校、中学校1校、高校1校）

(6) 献血実施状況

確保目標	(人)	受付(人)	採血(人)	達成率(%)
200 ml	0	49	44	-
400 ml	1,999	2,583	2,453	122.7
—	799,600ml	—	990,000ml	123.8

(7) 避難所用屋内テントの整備

避難所用屋内テントを購入し、各コミセンで実施された市総合防災訓練に貸出するなどの取り組みを通して、赤十字活動の普及啓発を行いました。

(5地区)

(8) その他の活動

- ・弔詞奉呈事業資材（ローソク）の配布 随時
- ・屋外テントの貸し出し 1件



## 2 高齢者、障がい者等の権利擁護

### 福祉サービス利用援助事業

(相談内容別件数)

相談内容／相談件数	R4	R3	R2	R元
福祉サービスの手続援助	31	24	56	66
金銭管理	844	770	705	694
書類等預かり	15	2	29	10
保健サービス	0	0	1	0
医療機関	13	1	17	11
福祉サービス苦情	1	0	0	0
生活設計	66	104	34	26
本事業関係	231	274	142	83
成年後見制度に関する相談	17	23	27	19
その他	24	53	69	151
合 計	1,242	1,251	1,080	1,060

#### ○契約内容別件数

##### ・契約種別件数

継 続	139	126	130	121
新 規	29	37	16	30
解 約	33	24	20	21
計	135	139	126	130

##### ・契約者状況別件数

認知症等高齢者	71	78	72	76
精神障がい者	32	34	26	29
知的障がい者	25	21	21	18
その他	7	6	7	7
計	135	139	126	130

##### ・世帯類型別件数

在宅独居	37	39	40	43
在宅同居	21	20	16	11
医療機関	14	11	9	13
老人保健施設	8	8	6	6
特別養護老人ホーム	3	4	3	5
グループホーム	25	28	22	20
ケアハウス	7	7	7	7
有料老人ホーム	10	11	14	17
その他	10	11	9	8
計	135	139	126	130

##### ・援助内容別件数(延べ件数)

福祉サービス利用援助	135	139	126	130
日常的金銭管理サービス	135	139	126	130
書類等預かりサービス	133	136	124	128
計	403	414	376	388

##### ・解約事由別件数

成年後見制度利用	5	6	1	2
施設入所・移行	4	1	5	2
死亡	17	12	6	12
親族への移行	1	1	4	3
本人へ返却	6	4	3	1
その他	0	0	1	1
計	33	24	20	21

## 成年後見事業

民法に定められた成年後見制度で、山形家庭裁判所酒田支部からの成年後見事件について法人として成年後見人の受任を行うもの。

加齢や障がいなどにより判断能力が低下した者の契約手続きなど、法律行為を代理し本人の権利を擁護する事業。

### ・業務審査委員会及び受任検討委員会開催状況

- 令和4年5月2日（月）第1回受任検討委員会 事案1件
- 令和4年6月30日（木）第2回受任検討委員会 事案1件
- 令和5年2月21日（火）第3回受任検討委員会 事案1件
- 令和5年3月14日（火）第4回受任検討委員会 事案1件
- 令和5年3月22日（水）成年後見業務審査委員会

### ・受任状況

	件数合計	保佐	補助	後見
令和4年度新規受任件数	2	1	0	1
終了件数	4	0	0	4
現在受任件数	14	2	0	12

## 3 低所得者支援

### 生活困窮者自立相談支援事業（生活自立支援センター）

新規相談受付数（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
男性	100	6	5
女性	91	3	6
合計	191	9	11

年齢層（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
～10代	0	0	0
20代	13	1	0
30代	30	0	2
40代	30	3	3
50代	43	2	2
60～64歳	15	2	0
65歳以上	44	1	3
不明	16	0	1
合計	191	9	11

相談対応（延）	酒田市	庄内町	遊佐町
来所面談	795	26	18
訪問	82	17	21
電話・連絡	1728	116	89
同行	77	4	5
メール等	278	9	9
合計	2960	172	142

相談内容（延）	酒田市	庄内町	遊佐町
病気、健康、障がい	150	13	23
住まい	125	0	11
収入・生活費	1763	58	24
家賃・ローン	196	15	1
税金・公共料金	32	9	0
債務	54	1	3
仕事探し・就職	851	85	84
地域との関係	4	0	0
家族関係	102	1	10
ひきこもり・不登校	67	0	12
DV	0	0	0
食べるものがない	109	4	0
虐待	2	0	1
介護	8	0	0
教育資金	94	0	0
子育て	6	0	0
ゴミ屋敷	0	0	0
ペット	0	0	0
ギャンブル・ドラッグ・お酒	0	0	0
その他	137	8	1
生活福祉資金に関する事	880		
合計	4580	194	170

支援調整会議	酒田市	庄内町	遊佐町
支援調整会議開催数（回）	11	5	3
新規支援プラン数	36	3	3
支援期間延長プラン数	0	2	0
支援プラン終結数	24	1	1

就労支援状況（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
就職決定者	45	4	4
増収した者	8	0	0

フードバンク	酒田市	庄内町	遊佐町
食品提供者（人）	221	7	1

### 生活福祉資金貸付事業

資金種別	受付件数	決定件数	備 考
総合支援資金	0	0	
福祉資金	7	7	
緊急小口資金	6	6	
教育支援資金	5	5	
要保護世帯向け不動産 担保型生活資金	0	0	
緊急小口（コロナ）特例 （令和4年9月受付終了）	28	28	
総合支援資金（コロナ）特例 （令和4年9月受付終了）	28	28	

### たすけあい資金貸付事業

貸付件数	貸付額	返済件数 （過年度含）	返済額
63件	2,084,642円	124件	1,958,642円

## 4 ボランティア等市民活動の振興と支援

### ボランティア・公益活動センターの運営

#### (1) ボランティア・公益活動推進委員会の開催

##### ○第1回（4月20日）

- ・酒田市公益活動推進アクションプランの進捗状況について
- ・令和3年度事業報告について
- ・令和4年度事業計画（案）について

##### ○第2回（10月14日）

- ・令和5年度酒田市公益活動団体協働提案負担金事業の採択について
- ・公益活動推進アクションプラン 次期アクションプラン策定について

##### ○第3回（2月15日）

- ・令和4年度事業の進捗状況について
- ・令和5年度事業計画（案）について
- ・酒田市公益活動推進アクションプランの改定および酒田市公益活動推進のための基本方針の一部修正について
- ・令和5年度公益活動団体協働提案負担金の採択候補事業について

#### (2) ボランティア・公益活動に関する普及・啓発、人材育成、交流等

##### ○主催事業

- ・「あなたのボランティア魂に灯をつける!!かもしれない!?夏のボランティア体験2022」事前説明（7月19日～21日、7月25日～27日、8月3日、8月22日～24日）・・・参加者65名
- ・ボランティア体験（7月23日～9月25日）・・・参加申込者84名※うち学習会のみ11名、参加団体13（のべ16メニュー）
- ・夏ボラカフェ・・・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止
- ・「しりあう・つながる・何か生まれる!!かもしれない!?交流会～ボランティア・市民活動交流会～」(2月25日)・・・参加者43名、参加団体13
- ・公益活動に関する研修会「インスタグラム初心者向け講座」(12月3日)・・・参加者17名　　・公益活動支援制度説明会（3月4日）・・・参加者8名

##### ○共催、参加事業

- ・酒田市社会福祉協議会事業  
酒田日和山公園桜まつり開催期間中の車いす無料貸出し（4月8日～17日11時～15時）・・・利用者12名
- ・東北公益文科大学 地域共創センター主催  
「ボランティアコーディネーションカ3級検定」事前学習会（8月17日）、直前研修、検定試験（9月11日）、事後学習会（9月14日）・・・受験者27名
- ・酒田市文化芸術推進プロジェクト会議、酒田市主催  
いろいろな展（障がい者アート作品展）（9月22日～9月29日）・・・来場者716名
- ・庄内地域広げようボランティアの輪連絡会議主催事業  
災害ボランティアセンターでの機材に関する研修を実施。

- ・ NPO なんでも相談会・NPO 運営基礎講座  
(NPO 法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催)
- NPO なんでも相談会① (12月13日)・・・5名参加
- NPO なんでも相談会② (1月16日)・・・1名参加
- NPO 運営基礎講座 (1月21日)・・・8名参加 (会場4名、オンライン4名)
- NPO なんでも相談会③ (2月24日)・・・2名参加

○相談、活動のコーディネート

ボランティア・市民活動に関すること (ボランティアをしたい、ボランティアを探している等)、団体の活動周知に関すること、補助金に関すること、ボランティア活動保険に関することなどの相談を、電話、窓口、メールなどで受け、随時コーディネートを行った。

(3) ボランティア・公益活動に関する情報発信

- ・ ボランティア・公益活動センターだより 9回 各約900部発行
- ・ ホームページやインスタグラムを活用して、最新情報を随時発信
- ・ メール・FAXでの情報送信 登録団体・登録者へ

(4) 市よりの受託事業

○ボランティア・公益活動センター業務

- ・ 公益活動支援補助金・・・相談、申請受付、審査会開催など
- ・ ボランティア・公益活動団体の紹介ブックレット発行
- ・ 飛島ボランティア活動支援補助金・・・相談、申請受付など

○福祉の担い手育成事業

- ・ 高齢者疑似体験事業 市内の小中学校11校 15回実施

○手話奉仕員育成事業

- ・ 手話教室の実施

手話奉仕員養成講座 全40回 参加者20名 (うち3名修了)

ステップアップ講座 全20回 参加者10名

○元気シニアボランティア事業

対象地区 琢成・松陵・浜田・若浜・亀ヶ崎・松原・港南・富士見・泉・  
新堀・広野・黒森・十坂・浜中・宮野浦・鳥海・西荒瀬地区・平田・一條・  
八幡・松山・南平田・田沢

登録者51名

## ボランティア保険加入手続き

ボランティア活動等を行う市民の皆様が安心して活動を実施するために、全国社会福祉協議会が一括で損害保険会社と契約する保険の取りまとめ窓口として、受付事務を行いました。

(酒田支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	44	34	2598	2467
ボランティア行事用保険	2	0	延べ 405	延べ 545
福祉サービス総合補償	3	0	1053	835
送迎サービス補償	1	0	延べ 500	0
社協サロン保険	0	0	0	0

(八幡支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	1	0	7	8
ボランティア行事用保険	1	0	延べ 77	43
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	0	0	0	0

(松山支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	2	0	72	83
ボランティア行事用保険	0	0	0	0
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	0	0	0	0

(平田支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	16	1	501	578
ボランティア行事用保険	1	0	0	256
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	3	0	465	171

	団体数	個人	合計人数	前年度
総合計	74	35	5678	4986

## 5 災害対策の実施

### 災害時の対応と災害に備えたボランティア活動

- ・社協防災訓練（9月9日）・・・研修会「災害ボランティアセンターの理解について」
- ・日向地区除雪ボランティア（1月28日、2月11日）・・・日向コミュニティ振興会、市と企画。新型コロナウイルス感染拡大防止のため少人数で実施。1月28日参加者29名、2月11日参加者26名（地元参加者を除く）。



令和4年度 避難者生活相談支援事業 会議・交流会等

4月	19(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 27(水) 第98回支援者のつどい (オンライン会議参加)
5月	24(火) こんにちわサロン with 避難者相談会
6月	10(木) 第1回被災者生活支援調整会議 (オンライン会議参加) 15(水) 庄内地域避難者生活支援相談員情報交換会 (鶴岡市にこゝふるにて) 21(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 28(火) 第1回酒田市避難者生活相談支援事業連絡会議 (酒田市役所にて)
7月	13(水) 第99回支援者のつどい (オンライン会議参加) 19(火) こんにちわサロン with 避難者相談会
8月	16(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 25(木) 三県合同研修会・情報交換会 (オンライン会議参加)
9月	6(火) 第2回被災者生活支援調整会議 (オンライン会議参加) 20(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 28(水) わくわくのたねの会 (ここふく@やまがた相談支援室主催、協力：鶴岡市社協、酒田市社協) (鶴岡市にこゝふるにて) 28(水) 第100回支援者のつどい (オンライン会議不参加)
10月	12(水) 庄内地域避難者生活支援相談員情報交換会 (鶴岡市にこゝふるにて) 18(火) こんにちわサロン with 避難者相談会
11月	15(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 22(火) やまがた避難者支援協働ネットワーク意見交換会 (山形市、欠席) 24(木) 東日本大震災に伴う避難世帯への全戸訪問の打ち合わせ (酒田市役所にて)
12月	20(火) こんにちわサロン with 避難者相談会
1月	17(火) こんにちわサロン with 避難者相談会
2月	1(水) 全戸訪問に関する情報交換会「最上・庄内地域」(オンライン会議参加) 6(月) ここふく@やまがた相談支援室主催「昭和歌謡ショー」(オンライン会議参加) 16(木) 第3回被災者生活支援調整会議 (第101回支援者のつどいと合同開催) (オンライン会議参加) 21(火) こんにちわサロン with 避難者相談会
3月	11(土) 東日本大震災復興祈念キャンドルナイト (酒田市社会福祉協議会にて) 14(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 14(火) 第4回被災者生活支援調整会議 (オンライン会議、欠席) 15(水) 第2回酒田市避難者生活相談支援事業連絡会議 (酒田市役所にて) 28(火) 東北大学門廻助教と東北大学病院奥山助教が来所し避難者支援内容ヒアリング (酒田市社会福祉協議会にて)

\*月1回、こんにちわだよりの発行をしています。

避難者生活相談支援事業活動

月		コンタクト方法									のべ 人数	合計
		訪問	電話	来所	他機関 つなぎ	避難者 サロン	地域 サロン	地域関 係構築	関係機 関支援 調整	郵送 メール		
4	避難者	3	2	3	0	1	2	0	0	0	11	51
	支援者	0	23	0	0	1	2	0	5	9	40	
5	避難者	39	3	4	0	1	1	0	0	0	48	71
	支援者	0	10	1	0	2	1	0	3	6	23	
6	避難者	2	4	4	0	1	1	0	0	0	12	35
	支援者	0	10	0	0	1	1	0	5	6	23	
7	避難者	4	2	3	0	1	1	0	0	1	12	39
	支援者	0	11	1	0	2	1	0	4	8	27	
8	避難者	3	6	4	0	1	1	0	0	0	15	43
	支援者	0	17	0	0	0	1	0	3	7	28	
9	避難者	2	13	1	2	2	1	2	0	1	24	59
	支援者	0	20	0	2	2	1	2	3	5	35	
10	避難者	2	4	2	0	1	1	0	0	1	11	47
	支援者	0	18	0	0	2	2	2	2	10	36	
11	避難者	1	8	3	0	1	0	0	0	1	14	47
	支援者	0	16	2	0	0	0	0	3	12	33	
12	避難者	48	15	5	0	1	2	0	0	7	78	104
	支援者	0	18	0	0	0	1	0	2	5	26	
1	避難者	3	13	1	0	1	0	0	0	0	18	43
	支援者	0	15	0	0	0	0	0	3	7	25	
2	避難者	1	9	4	0	1	1	0	0	4	20	52
	支援者	0	15	0	0	2	1	0	4	10	32	
3	避難者	2	2	4	0	1	0	0	0	1	10	37
	支援者	0	15	1	0	1	0	0	2	8	27	

## 6 相談事業

### 心配ごと相談

相談内容	件数
家族に関する相談	9
生計に関する相談	2
住宅に関する相談	1
その他	1
合計	13
前年度計	12

## 7 介護及び障がい福祉サービス事業

### 居宅介護支援事業

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計画作成等	323	321	314	323	314	316	307	315	310	309	320	316	3,788
要介護1.2	190	184	179	180	189	188	185	189	183	181	186	184	2,218
要介護3.4.5	133	137	135	143	125	128	122	126	127	128	134	132	1,570
予防支援	11	15	13	14	14	13	13	12	12	13	12	14	156
認定調査	12	20	22	13	16	17	14	17	18	21	20	24	214

### 障がい児・者相談支援事業

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計画作成	5	2	8	8	6	10	10	6	3	2	11	7	78
モニタリング	19	18	15	16	13	20	17	18	26	18	17	20	217
計	19	18	15	16	13	20	17	24	26	20	28	20	236

## 訪問介護事業

### ①訪問介護利用状況

(単位：回数)

月	介護サービス				障がい福祉サービス				保険外	合計
	総合事業		身体介護	生活援助	身体介護	家事援助	同行援護	移動支援	生活支援	
	A型	従前相当								
4	184	16	493	537	119	175	22	1	35	1,582
5	185	31	493	525	136	173	25	0	50	1,618
6	188	26	506	541	130	188	30	1	50	1,660
7	187	28	469	560	129	199	21	4	48	1,645
8	192	28	488	552	117	194	23	3	42	1,639
9	186	22	432	587	119	188	25	3	55	1,617
10	169	26	497	578	119	186	26	1	33	1,635
11	174	31	491	551	108	190	25	3	24	1,597
12	197	20	453	575	139	186	19	1	29	1,619
1	172	18	476	572	124	179	15	0	23	1,579
2	149	22	351	466	111	154	23	0	19	1,295
3	163	25	363	518	128	180	25	2	38	1,442
合計	2,146	293	5,512	6,562	1,479	2,192	279	19	446	18,928
前年度	2,147	174	6,758	6,249	1,348	2,219	247	19	381	19,542

### ②訪問介護職員研修会開催状況

月	研修内容	月	研修内容
4	令和4年度研修計画 員職業倫理及び法令遵守	職 10	リスクマネジメント 「事故発生防止と発生時の適切な対応」 ヒヤリハットの経験談から学ぶ
5	防護服着脱実技 感染症発生防止について	感 11	「調理支援のケース紹介」 「高齢者食を体験してみよう」
6	精神疾患の理解と対応 個別訪問介護員に係る研修1回目	12	排泄介助の方法について 個別訪問介護員に係る研修4回目
7	訪問介護実施記録の書き方 個別訪問介護員に係る研修2回目	1	高齢者虐待防止、成年後見制度を学ぶ
8	認知症の理解と対応 個別訪問介護員に係る研修3回目	2	個別訪問介護員に係る研修発表会 (各班ごと検討テーマについて)
9	心肺蘇生、AEDを用いた除細動	3	令和4年度の反省・評価と課題の検討 令和5年度年間研修計画について

通所介護事業

①酒田市デイサービスセンターいずみ利用状況 【定員30人】

(単位：人)

月	介 護 度 区 分								計	内 訳		稼働日数	利一日平均 用人数	利用実人員
	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5		入浴	食事			
4	0	0	46	46	236	113	48	40	529	514	513	26	20.3	61
5	0	0	50	43	214	104	50	26	487	469	477	26	18.7	55
6	0	0	45	53	197	108	43	26	472	456	469	26	18.2	55
7	0	0	40	51	211	119	44	30	495	477	488	26	19.0	55
8	0	4	40	50	211	88	26	46	465	453	457	27	17.2	53
9	0	0	33	72	210	100	25	40	480	464	473	26	18.5	53
10	0	0	34	95	194	107	27	44	501	464	496	26	19.3	55
11	0	0	26	112	154	90	32	27	441	404	428	26	17.0	52
12	0	0	23	94	155	82	25	27	406	371	397	26	15.6	50
1	0	0	22	93	151	80	16	23	385	354	378	24	16.0	49
2	0	0	24	99	142	80	17	27	389	369	382	24	16.2	50
3	0	0	27	119	169	84	19	36	454	429	447	27	16.8	50
合計	0	4	410	927	2,244	1,155	372	392	5,504	5,224	5,405	310	17.8	638
前年度合計	51	21	315	661	2,678	1,394	500	391	6,011	5,858	5,843	310	19.4	701
月平均	0.0	0.3	34.2	77.3	187.0	96.3	31.0	32.7	458.7	435.3	450.4	25.8	17.7	53.2

②酒田市デイサービスセンターいずみ利用状況（認知症対応型通所介護） 【定員10人】

(単位：人)

月	介 護 度 区 分					計	内 訳		稼働日数	利一日平均 用人数	利用実人員	
		介護1	介護2	介護3	介護4		介護5	入浴				食事
4		17	42	33	35	0	127	106	127	26	4.9	11
5		17	45	27	44	0	133	112	133	26	5.1	12
6		17	51	31	45	0	144	113	144	26	5.5	13
7		15	54	31	30	0	130	101	130	26	5.0	12
8		22	69	37	33	0	161	123	161	27	6.0	14
9		18	65	26	28	0	137	103	136	26	5.3	14
10		20	64	36	21	11	152	124	152	26	5.8	15
11		21	78	40	20	9	168	131	168	26	6.5	14
12		21	59	71	19	9	179	132	179	26	6.9	15
1		16	54	62	20	7	159	117	159	24	6.6	15
2		12	50	59	21	0	142	105	142	24	5.9	13
3		13	48	59	22	0	142	102	142	27	5.3	13
合計		209	679	512	338	36	1,774	1,369	1,773	310	5.7	161
前年度合計		234	623	231	269	0	1,357	1,054	1,356	310	4.4	137
月平均		17.4	56.6	42.7	28.2	3.0	147.8	114.1	147.8	25.8	5.7	13.4

③酒田市デイサービスセンター松山利用状況【定員20人】

(単位：人)

月	介護度区分								計	内 訳		稼働日数	利一日平均 用人数	利用実人員
	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5		入浴	食事			
4	5	1	41	70	167	120	19	12	435	398	426	26	16.7	49
5	4	2	39	67	164	120	21	14	431	400	422	26	16.6	50
6	1	2	40	63	139	145	22	12	424	388	416	26	16.3	49
7	0	2	41	52	142	143	22	15	417	383	408	26	16.0	47
8	0	1	40	47	141	142	27	14	412	381	404	27	15.3	45
9	0	2	41	49	134	149	20	24	419	388	411	26	16.1	46
10	0	1	42	46	120	147	26	28	410	367	400	26	15.8	43
11	0	2	38	62	120	130	26	32	410	371	401	26	15.8	46
12	0	1	31	62	114	100	25	29	362	339	352	26	13.9	43
1	0	1	33	60	119	94	9	27	343	319	335	24	14.3	42
2	0	2	37	57	94	107	7	30	334	306	325	24	13.9	42
3	6	2	50	34	121	112	13	31	369	327	367	27	13.7	44
合計	16	19	473	669	1,575	1,509	237	268	4,766	4,367	4,667	310	15.4	546
前年度合計	64	29	321	924	1,898	998	162	116	4,512	3,975	4,402	310	14.6	541
月平均	1.3	1.6	39.4	55.8	131.3	125.8	19.8	22.3	397.2	363.9	388.9	25.8	15.4	45.5

酒田市地域包括支援センターにいた <活動報告>

◆予防給付に関すること (件)

予防プラン作成	357
介護報酬請求	610
うち委託件数	172
総合事業介護報酬請求	1,087
うち委託件数	191
予防プランチェック	34
サービス担当者会議	62
サービス調整	289
その他	171
予防給付計	2,610

◆一般介護予防事業に関すること (回)

サロン等	会議	25
	講座	32
	その他	36
サービスB型に関すること	63	
すこやかマスターズに関すること	66	
一体的実施に関すること	43	
計	265	

●相談に関すること (相談者別) (件)

本人	1438
家族・親族	779
民生委員	152
地域関係者	69
事業所	602
医療機関	314
行政	146
警察・金融機関	42
その他	50
計	3,592

●相談に関すること (相談対象別) (件)

高(65歳以上)一般	2,434
高(65歳以上)精神	163
高(65歳以上)認知	814
未(65歳未満)一般	56
未(65歳未満)精神・知的	100
未(65歳未満)認知	6
事業所	6
その他	13
計	3,592

●相談に関すること (相談方法別) (件)

訪問	1,306
電話	1,856
来所	260
メール	15
その他	155
計	3,592

●相談に関すること (相談回数) (回)

新規	531
年度初回	387
年度継続	2,674
計	3,592

◆1 総合相談 (件)

介護保険対象サービス	860
介護保険以外	159
施設入所	60
家族問題	113
生活環境・経済問題	195
疾病・医療について	200
実態把握	394
認知症に関すること	133
その他	175
計	2,289

◆2 権利擁護関係 (件)

成年後見制度	29
高齢者虐待	25
消費者被害	1
事例検討会(虐待など)	0
その他	13
計	68

◆3 包括的・継続的 (件)

1支援困難事例	101
2サービス担当者会議	6
3ケアプラン作成相談	68
4ケアマネ支援	69
5退院支援	100
6その他	74
計	418

◆4 介護予防ケアマネジメント (件)

予防プラン作成	312
サービス担当者会議	62
サービス調整	189
プランチェック	21
その他	233
計	817

◆相談内容合計 (件)

1 総合相談	2,289
2 権利擁護関係	68
3 包括的・継続的	418
4 介護予防ケアマネジメント	817
合計	3,592

## 8 広報活動、顕彰、慰霊事業

### 広報活動

#### 酒田市社協会報「ふれあい」の発行

号 頁	54号 (R4. 6. 15 発行)	55号 (R4. 10. 1 発行)	56号 (R5. 3. 15 発行)
表 紙	・日和山公園桜まつり車いす貸し出し	・赤い羽根共同助成 十坂こども園「お達者クラブ」	・酒田東高等学校3年生のボランティア活動
2	・第4期酒田市地域福祉活動計画	・赤い羽根共同募金活動開始 (令和4年度助成先の紹介、令和5年度助成先募集等)	・「子どもの居場所」を支援する活動団体の紹介 (松陵学区「学びと遊びの楽校」、庄内ちいき食堂、泉学区子育て応援団コロボックル)
3	・令和4年度社協予算内訳	・チャリティーバザー&フリーマーケットの募集	
4	・ボランティアをやってみよう～ボラポートさかたの紹介	・学区・地区社協活動の紹介 (琢成学区、大沢地区)	・令和4年度福祉関係表彰受賞者の紹介
5	・社協の相談窓口	・フードバンク事業の紹介	・受賞者の活動紹介
6	・備品貸し出しコーナー (拡大コピー機・紙折り機、車いす、災害救護活動用機材)	・令和3年度決算報告 ・評議員・理事・監事紹介	・学区・地区社協活動の紹介 (松山地区、上田地区)
7	・お知らせ (共同募金助成先の募集) ・ご寄付ご寄贈の報告	・お知らせ (車いすの貸出、義援金受付) ・ご寄付ご寄贈の報告	・お知らせ (八幡支部移転、ボラ保険受付、義援金受付) ・ご寄付ご寄贈の報告
8	・福祉サービス利用援助事業の紹介	・PHOTO 社協 写真で見る社協事業 (災害ボランティア活動、高齢者疑似体験、夏のボランティア体験、地域支え合い型移動研修)	・赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金への協力法人等の紹介
9			
10			
11			
12			・(裏表紙) 赤い羽根共同募金の説明、協力への感謝



## 顕彰事業

### 令和4年度酒田市社会福祉協議会表彰式

- 日 時 令和4年11月18日(火) 午前10時～
- 場 所 酒田市総合文化センター ホール
- 表彰者 民生委員・児童委員活動28名  
学区・地区社協活動1名  
老人クラブ活動1名  
福祉協力員活動13名  
遺族会活動2名  
ボランティア活動1名 計46名
- 感謝状 老人クラブ活動1名  
自立支援活動2名  
ふれあい給食調理ボランティア活動4名  
多額の寄付1名  
地区社協活動1名 計9名

### 令和4年度山形県・県民福祉大会表彰式

- 日 時 令和4年11月21日(月) 午後1時30分～
- 場 所 新庄市市民文化会館
- 表彰者 一般社会福祉事業関係功労者9名  
民生委員・児童委員活動1名

## 戦没者追悼式の開催

令和4年度酒田市戦没者追悼式 ※中止

## 9 法人運営、施設管理

### 自主財源の確保

	社協会費				寄付金	合計
	個人会費	賛助会費	特別会費	計		
R 4	28,123 世帯	51 団体	310 人	28,484 件	40 件	28,524 件
	14,061,500 円	174,000 円	465,000 円	14,700,500 円	1,310,307 円	16,010,807 円
R 3	28,359 世帯	46 団体	318 人	28,723 件	48 件	28,771 件
	14,180,700 円	182,000 円	477,000 円	14,839,700 円	1,532,286 円	16,371,986 円

### 事業所安全衛生委員会

#### (1) 委員会開催概要

開催日	主な協議内容
4月26日	・年間計画について
6月23日	・職場巡回（平田支部）
7月26日	・職場の交通安全について （酒田警察署交通課交通安全係）
9月15日	・心肺蘇生法・AEDについて （酒田地区広域行政組合消防本部による講習）
10月20日	・健康づくり指導講習（運動と健康、ストレッチ）
11月17日	・健康診断結果について （産業医・渡邊医師）
2月16日	・健康診断後措置の確認とまとめ

酒田市地域福祉センターと八幡やまゆり荘の管理・運営

(1) 酒田市地域福祉センター

区分 月	貸館利用数						1日 平均	開館日数
	有 料		無 料		合 計			
	件	人	件	人	件	人	人	日
4	0	0	58	620	58	620	21	30
5	0	0	53	581	53	581	19	31
6	0	0	56	598	56	598	20	30
7	0	0	57	555	57	555	18	31
8	0	0	59	551	59	551	18	31
9	0	0	66	714	66	714	24	30
10	0	0	74	761	74	761	25	31
11	0	0	52	440	52	440	15	30
12	0	0	46	428	46	428	15	28
1	0	0	39	467	39	467	17	28
2	0	0	47	584	47	584	21	28
3	0	0	85	887	85	887	29	31
合計	0	0	692	7,186	692	7,186	20	359
前年度合計	0	0	678	6,491	678	6,491	18	359

(2) 老人福祉センター「やまゆり荘」

月	区分	回 数	人 数
4		10	81
5		6	49
6		5	40
7		7	67
8		0	0
9		3	11
10		3	38
11		3	38
12		1	1
1		0	0
2		0	0
3		0	0
合 計		38	325
前年度合計		50	205

※老人福祉センター「やまゆり荘」は、令和5年4月1日で廃止

## 酒田市福祉バス・日赤福祉バス運行状況

### (1) 酒田市福祉バス運行状況

運行日数	59 日	内訳	市 内	519 人(回)
運行回数	59 回		庄 内	244 人(回)
総利用人数	1,020 人		県 内	257 人(回)
			県 外	0 人(回)

月	種別	研修会	施設視察	学習会 交流会	送 迎	大会総会	レクリエ ーション	訓 練 型ハゼリ	園外保育	合 計
4						1				1
5			1							1
6		2	2			1			1	6
7		5	3			1				9
8					1	2				3
9		3	1	1					1	6
10		3	7	1		1			1	13
11		5	3		1	2				11
12		1	1			1				3
1					1				1	2
2					2					2
3				1					1	2
計		19	18	3	5	9	0	0	5	59
前年度計		0	17	1	15	0	0	0	11	44

※ 新型コロナウイルス感染拡大のため、4月運行キャンセル多

### (2) 酒田市日赤福祉バス運行状況

運行日数	47 日	内訳	市 内	274 人(回)
運行回数	47 回		庄 内	151 人(回)
総利用人数	567 人		県 内	142 人(回)
			県 外	0 人(回)

月	種別	研修会	施設視察	学習会 交流会	送 迎	大会総会	レクリエ ーション	訓 練 型ハゼリ	園外保育	合 計
4										0
5										0
6				1		1			2	4
7		6	5		1				1	13
8					2				2	4
9		1	2							3
10		1	4	3		1			1	10
11		2	1		1					4
12						1			2	3
1									1	1
2		2			1					3
3		1	1							2
計		13	13	4	5	3	0	0	9	47
前年度計		0	7	1	10	1	0	0	7	26

(3) やまゆり号運行状況

運行日数	41 日	内訳	市 内	495 人(回)
運行回数	41 回		庄 内	22 人(回)
総利用人数	547 人		県 内	30 人(回)
			県 外	0 人(回)

種別 月	研修会	施設視察	学習会 交流会	送 迎	大会総会	レクリエ ーション	訓 練 実ハビリ	園外保育	合 計
4				3					3
5			1	3					4
6	1	1		3	1				6
7	3	1	1	4					9
8				2					2
9	1								1
10		1		3		1			5
11			1	3					4
12								1	1
1				2					2
2	1			1					2
3				2					2
計	6	3	3	26	1	1	0	1	41
前年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## (3)令和4年度 団体別福祉バス・日赤福祉バス利用状況

単位:日

団 体 名	福祉バス		日赤福祉バス		やまゆり号	
	利用日数	人数	利用日数	人数	利用日数	人数
老 人 ク ラ ブ	5	93	1	10	2	21
民生児童委員協議会連合会	4	87	4	52	2	21
母 子 寡 婦 福 祉 会	3	48	2	11		
ボランティア連絡協議会	1	15	1	16		
遺 族 会	1	17				
福祉課・児童課・行政	1	14				
法 人 保 育 園	5	81	7	92	1	10
自治会連合会・各自治会	4	59	3	47	3	34
学区社協・コミュニティ振興会	21	387	17	189	8	96
学 童 保 育	2	29	2	20		
手をつなぐ親の会						
保護司会・更生保護女性会			3	33		
市社会福祉協議会	9	142	4	61	19	338
衛 生 組 合						
食生活改善推進委員会						
障がい者施設・団体	2	31	1	10	6	27
そ の 他	1	17	2	26		
合 計	59	1,020	47	567	41	547
前 年 度 計	44	808	26	291	15	168

## 各支部の運営

### (1) 八幡支部

#### ①地域福祉事業

実施年月日	内 容	備 考
令和 4年 6月22日	* 日向地区地域通貨に関する研修会	日向コミセン
11月30日	* やわたけんこうプロジェクト (YKP) 「いきいき百歳体操代表者交流会」	八幡刈池ヶ
12月 5日	* 日向地区地域通貨に関する視察研修	田沢・琢成地区
令和 5年 1月28日	* 日向ささえあい除雪ボランティア (1回目)	日向コミセン
2月11日	* 日向ささえあい除雪ボランティア (2回目)	日向コミセン
3月 2日	* サロン世話人代表者会議	八幡刈池ヶ
3月13日	* 地域あんしん相談員との意見交換会	観音寺コミセン
令和 4年4月～ 令和5年3月	* ミニデイサービス 計21回開催、延べ利用者211名	やまゆり荘・八幡刈池ヶ

#### ②福祉関係団体事業

実施年月日	内 容	備 考
令和 4年 6月22日	* 老人クラブ「清掃奉仕活動」	やまゆり荘周辺
6月26日	* 身障「酒田市障がい者スポーツ大会」	酒田市体育館
7月 6日	* 身障「親睦レクリエーション大会」	やまゆり荘
8月15日	* 遺族会「平和の鐘つき」	亡利の山
8月24日	* 遺族会「八幡戦没者慰霊祭」	亡利の山
10月12日	* 老人クラブ「グランドゴルフ大会」	八森G・C
10月21日	* 遺族会「山形県戦没者遺族大会」	シムラ-南陽
10月24日	* 老人クラブ「女性会視察研修会」	鶴岡市・酒田市
10月26日	* 身障「視察研修会」	ミラニ
11月17日	* 老人クラブ「軽スポーツ交流大会」	八幡刈池ヶ
令和 5年 1月20日	* 身障「新年を語る会」	観音寺コミセン
1月26日	* 老人クラブ「いきいき健康講座」	八幡刈池ヶ

#### ③共同募金運動&歳末たすけあい募金運動

実施年月日	内 容	備 考
令和 4年10月 1日	* 戸別募金、歳末たすけあい募金依頼 * 募金箱設置依頼 * 職域募金依頼	自治会長 コミセン等 総合支所等
10月18日	* 法人募金 (日向地区、観音寺地区)	31か所
10月25日	* 法人募金 (大沢地区、一條地区)	16か所
12月22日	* 歳末たすけあい激励金配布	八幡刈池ヶ

(2) 松山支部

①地域福祉事業&福祉教育事業

実施年月日	内 容	備 考
令和4年 10月 5日	* 松山健康福祉センター防災訓練	康福祉センター
令和4年 10月15日	* 松山健康福祉フェア	農村環境センター
令和4年 4月から	* おとこかれーくらぶ (全11回)	健康福祉センター
令和5年 3月まで	第3月曜日午前10時から	
令和4年 5月から	* いきいきくらぶ (全7回)	農村環境センター
令和5年 2月まで	第3水曜日午前10時から11時30分まで	
3月21日	* 松山健康福祉センター防災訓練	健康福祉センター

②福祉関係団体事業

実施年月日	内 容	備 考
令和4年 7月16日	* 老人クラブ連合会松山支部スポーツレクリエーション大会	里仁館体育館
10月 4日	* 老人クラブ連合会松山支部スポーツレクリエーション大会	松山河川運動公園
11月16日	* 老人クラブ連合会松山支部福祉講座	健康福祉センター
令和5年 3月 1日	* 広報「まつかさ」発行	健康福祉センター
3月20日	* 松山・平田手をつなぐ育成会役員研修会	健康福祉センター

③共同募金運動&歳末たすけあい募金運動

実施年月日	内 容	備 考
令和4年 10月 1日	* 戸別募金、歳末たすけあい募金依頼	自治会長
~	* 募金箱設置依頼	コミセン等
12月31日	* 法人募金	20か所



(3) 平田支部

①地域福祉事業&福祉教育事業

実施年月日	内 容	備 考
令和4年 7月22日	* 平田地区社会福祉協議会連絡会	ひらたタウンセンター
11月 3日	* ひらたボランティアまつり	ひらたタウンセンター
11月25日	* ひらた社会福祉のつどい	ひらたタウンセンター
令和4年7月 ～令和5年3月	* 一人暮らし高齢者世帯等への包括ひらたとの合同訪問 延17世帯訪問	

②福祉関係団体事業

実施年月日	内 容	備 考
令和4年6月～令和5年1月	* 身障協あいあいサロン	B&G 海洋 C、タウン C
令和4年 6月15日	* 老人クラブ女性部研修会	消防本部
6月24日	* 老人クラブ室内ペタンク大会	海洋センター
6月26日	* 身障市スポーツ大会	酒田市体育館
7月25日	* 老人クラブグランドゴルフ大会	高畑運動場
8月 7日	* 遺族会北俣観音まつり・戦没精霊供養	光伝寺
10月13日	* 老人クラブ女性部研修会	海向寺・本間家旧本邸
10月19日	* 遺族会県追悼式・遺族大会	なんようホール
11月12日	* 身障庄内レクのつどい	勤労者体育 C
11月17日	* 老人クラブ公式ワナゲ大会	海洋センター
12月23日	* 老人クラブカローリング大会	海洋センター
12月15日	* 老人クラブ女性部研修会	ひらたタウンセンター
令和5年 2月15日	* 老人クラブ高齢者相互支援のつどい	ひらたタウンセンター
2月22日	* 老人クラブ女性部研修会	ひらたタウンセンター
令和4年4月～ 令和5年3月	* 老人クラブ健康づくり教室 毎月第1・3月曜日実施	ひらたタウンセンター

③共同募金運動&歳末たすけあい募金運動

実施年月日	内 容	備 考
令和4年 10月 1日 ～ 12月31日	* 戸別募金、歳末たすけあい募金依頼 * 募金箱設置依頼 * 職域募金依頼 * 法人募金	自治会長 コミセン等 総合支所等 28か所

## 市社協機関会議等の開催

### (1) 正副会長会議

#### ① 第1回正副会長会議（令和4年5月17日）

##### 協議案件

1. 5月27日（金）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について
2. 6月17日（金）開催予定の酒田市社会福祉協議会評議員会提出議題について
3. 山形県共同募金会酒田市共同募金委員会運営委員会（5/27）・審査委員会（6/17）提出議題について
4. その他

#### ② 第2回正副会長会議（令和4年12月1日）

##### 協議案件

1. 12月9日（金）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について
2. 12月16日（金）開催予定の酒田市社会福祉協議会評議員会提出議題について
3. 山形県共同募金会酒田市共同募金委員会運営委員会（12/9）審査委員会（6/17）提出議題について
4. その他

#### ③ 第3回正副会長会議（令和5年3月2日）

##### 協議案件

1. 3月9日（木）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について
2. 3月23日（木）開催予定の酒田市社会福祉協議会評議員会提出議題について
3. 山形県共同募金会酒田市共同募金委員会（3/9）・審査委員会（3/23）提出議題について
4. その他

### (2) 理事会

#### ① 第1回理事会（令和4年5月27日）

##### 議事

- 第1号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第4号)の専決処分について
- 第2号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会経理規程の一部改正の専決処分について
- 第3号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会事業報告について
- 第4号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支決算について

- 第5号議案 令和4年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について
- 第6号議案 酒田市社会福祉協議会評議員の選任候補者の推薦について
- 第7号議案 酒田市社会福祉協議会理事の選任候補者の推薦について
- 第4号議案 酒田市社会福祉協議会令和4年度第1回評議員会の招集について

② 第2回理事会(令和4年12月9日)

議 事

- 第1号議案 令和4年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)の専決処分について
- 第2号議案 令和4年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)について
- 第3号議案 酒田市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について
- 第4号議案 酒田市社会福祉協議会令和4年度第2回評議員会の招集について

③ 第3回理事会(令和5年3月9日)

議 事

- 第1号議案 令和4年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第4号)について
- 第2号議案 令和5年度酒田市社会福祉協議会事業計画について
- 第3号議案 令和5年度酒田市社会福祉協議会資金収支予算について
- 第4号議案 酒田市社会福祉協議会定款の一部変更について
- 第5号議案 酒田市社会福祉協議会組織機構等に関する規程の一部改正について
- 第6号議案 酒田市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 第7号議案 酒田市社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約締結について
- 第8号議案 酒田市社会福祉協議会令和4年度第3回評議員会の招集について

(3) 評議員会

① 第1回評議員会(令和4年6月17日)

議 事

- 第1号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第4号)の専決処分について
- 第2号議案 酒田市社会福祉協議会職員経理規程の一部改正の専決処分について
- 第3号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会事業報告について
- 第4号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支決算について
- 第5号議案 令和4年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について
- 第6号議案 酒田市社会福祉協議会理事の選任について

② 第2回評議員会（令和4年12月16日）

議 事

- 第1号議案 令和4年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）の専決処分について
- 第2号議案 令和4年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号）について
- 第3号議案 酒田市社会福祉協議会職員給規程の一部改正について

③ 第3回評議員会（令和5年3月23日）

議 事

- 第1号議案 令和4年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算（第4号）について
- 第2号議案 令和5年度酒田市社会福祉協議会事業計画について
- 第3号議案 令和5年度酒田市社会福祉協議会資金収支予算について
- 第4号議案 酒田市社会福祉協議会定款の一部変更について
- 第5号議案 酒田市社会福祉協議会組織機構等に関する規程の一部改正について
- 第6号議案 酒田市社会福祉協議会経理規程の一部改正について

(4) 専門部会

① 総務財政部会

第1回総務財政部会

日 時 令和4年11月29日（火）午前10時

場 所 酒田市地域福祉センター

- 内 容 ○ 令和4年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）の専決処分について
- 令和4年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号）について
- 職員給与規程一部改正について
- 総務課所管事業（事務）の進捗状況について

第2回総務財政部会

日 時 令和5年2月24日（金）午前9時30分

場 所 酒田市地域福祉センター

- 内 容 ○ 令和4年度社会福祉法人酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算（第4号）について
- 令和3年度酒田市社会福祉協議会事業計画について
- 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支予算について
- 酒田市社会福祉協議会定款一部変更について
- 酒田市社会福祉協議会組織機構等に関する規程の一部改正について
- 酒田市社会福祉協議会経理規程の一部変更について

② 地域福祉・ボランティア部会

第1回地域福祉・ボランティア部会

日時 令和4年11月25日(金) 午前10時00分

場所 酒田市地域福祉センター

内容 ○ 地域福祉事業及びボランティア事業の進捗状況について  
○ 川西町災害ボランティアセンター運営支援について

第2回地域福祉・ボランティア部会

日時 令和5年2月28日(火)

内容 ○ 令和5年度酒田市社会福祉協議会地域福祉課所管事業計画  
について

③ 介護保険部会

第1回介護保険部会

日時 令和4年11月24日(木) 午前10時

場所 酒田市地域福祉センター

内容 ○ 介護サービス事業の収支状況について  
○ デイサービスご利用者満足度アンケートの結果について  
○ 新型コロナウイルス感染の発生状況について

第2回介護保険部会

日時 令和5年2月28日(火) 午前9時30分

場所 酒田市地域福祉センター

内容 ○ 介護サービス課の事業計画(案)について

④ 共同募金部会

第1回共同募金部会

日時 令和3年9月13日(火) 午前10時

場所 酒田市地域福祉センター

内容 ○ 令和4年度共同募金助成について  
○ 令和4年度共同募金・歳末たすけあい募金目標について  
○ 令和4年度共同募金運動の日程及び活動内容について

第2回共同募金部会

日時 令和4年11月28日(月) 午前10時

場所 酒田市地域福祉センター

内容 ○ 令和4年度共同募金収納状況について  
○ 令和4年度歳末たすけあい運動について  
○ 令和4年度歳末たすけあい激励金助成計画(案)について  
○ 歳末たすけあい募金統一について

### 第3回共同募金部会

- 日時 令和5年2月27日(月)午前9時30分  
場所 酒田市地域福祉センター  
内容 ○ 令和4年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会収支補正  
予算(第1号)(案)について  
○ 令和5年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会事業計画  
(案)について  
○ 令和5年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会資金収支  
予算書(案)について  
○ 令和5年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会助成計画  
(案)について  
○ 令和4年度歳末たすけあい募金歳末激励金配布報告  
○ 共同募金・歳末たすけあい募金の実績

### (5) 監査

- 日時 令和4年5月13日(金)午前10時  
場所 酒田市地域福祉センター  
内容 ○ 令和4年度の事業報告書、貸借対照表、財産目録、一般会計  
資金収支決算書等の監査

### (6) 各種研修会等

#### ① 自治会長研修・説明会

- 日時 ①令和4年6月14日 ②令和4年6月16日 午後1時30分  
場所 酒田勤労者福祉センター  
内容 ○ 赤十字活動について  
○ 酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概  
要について  
○ 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について

#### ② コミュニティ振興会長並びに事務担当者研修・説明会

- 日時 令和4年6月3日 午後1時30分  
場所 酒田勤労者福祉センター  
内容 ○ 赤十字活動について  
○ 酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概  
要について  
○ 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について

#### ③ 松山支部福祉推進員研修・説明会

- 日時 令和4年6月6日 午後2時  
場所 酒田勤労者福祉センター  
内容 ○ 赤十字活動について  
○ 酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概  
要について  
○ 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について

- ④ 八幡支部福祉推進員研修・説明会  
 日 時 令和4年6月7日 午後2時  
 場 所 八幡タウンセンター  
 内 容 ○赤十字活動について  
 ○酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概要について  
 ○共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について
- ⑤ 平田支部福祉推進員研修・説明会  
 日 時 令和4年6月8日 午後2時  
 場 所 ひらたタウンセンター  
 内 容 ○赤十字活動について  
 ○酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概要について  
 ○共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について
- ⑥ (自治連) 新自治会長研修会  
 日 時 令和4年7月7日(木) 午前10時  
 場 所 酒田市地域福祉センター  
 内 容 ○自治会の今について  
 ○酒田市社会福祉協議会の概要について
- ⑦ 名学区・地区社協代表者会議(説明会)  
 日 時 令和5年3月3日(金) 午前10時  
 令和5年3月7日(火) 午前10時  
 令和5年3月7日(金) 午後1時30分  
 ※ 3回に分けて実施  
 場 所 ひらたタウンセンター(3/3)  
 酒田市地域福祉センター(3/7 午前・午後)  
 内 容 ○「新・草の根事業」交付予定額及び内訳について  
 ○「 」等関係書類の提出について

## 令和4年度「ふくし出前講座・ふくし共育出前講座」実施状況

	開催（予定）日	申込団体	講座実施（講師派遣）法人
		講座内容	
1	令和4年6月14日	みづほ自治会	県事業団
		ミュージック・ケア「だれでも、どこでも、いつでも楽しめる音楽療法」	
2	令和4年7月1日	第一民児協	市社協
		仕事、家計、生活などでお困りのときの相談窓口～「生活自立支援センターさかた」を知っていますか	
3	令和4年7月4日	松陵学区社会福祉協議会	市社協
		障がいや認知症があっても安心して暮らすために～成年後見制度、福祉サービス利用援助事業を知っていますか	
4	令和4年9月5日	八幡民児協	市社協
		仕事、家計、生活などでお困りのときの相談窓口～「生活自立支援センターさかた」を知っていますか	
5	令和4年9月6日	42区自治会	かたばみ会
		「その時、あなたはどうしますか？」～自分や家族に介護が必要になった～	
6	令和4年11月1日	松山民児協	市社協
		見守りなどについて	
7	令和4年11月16日	琢成学区福祉協力員会	市社協
		仕事、家計、生活などでお困りのときの相談窓口～「生活自立支援センターさかた」を知っていますか	
8	令和4年12月13日	みづほ自治会	友和会
		老化を防ぐ食事と栄養	
9	令和4年12月14日	山寺地区社会福祉協議会	市社協
		障がいや認知症があっても安心して暮らすために～成年後見制度、福祉サービス利用援助事業を知っていますか	
10	令和5年2月27日	内郷地区社会福祉協議会	市社協
		障がいや認知症があっても安心して暮らすために～成年後見制度、福祉サービス利用援助事業を知っていますか	